

アジアの友

The Asia-no Tomo

4-5

APRIL-MAY

2012

7月9日から 新しい在留管理制度がスタート

多謝！ ABK 募金 タイ、マレーシア、シンガポール訪問記



マレーシア同窓生の集会

2012年3月24日 於 マレーシア・ジョホールバル



ABK 別館の解体工事開始！

ABK 日本語学校新校舎建設のための ABK 別館解体工事が本格スタートしました。



この部分を解体、
新校舎を
建設します



解体開始当初（4／23）



解体途中（5／1）



5月上旬の様子

月刊 アジアの友

2012年4-5月号 第496号

目次

巻頭

- 2 7月9日から 新しい在留管理制度がスタート！！
留学生への変更事項は？

ご報告

- 8 タイ、マレーシア、シンガポール訪問記
9 タイ、マレーシア、シンガポール訪問日程
10 日本文化のタベ アジア文化会館の一夜パーティー
12 マレーシア、シンガポール訪問記
16 マレーシアでの「ABK 同窓生募金」運動はこうしてはじまった

地域の魅力でアピール！

- 18 インタビュー 国立大学法人 琉球大学

私の意見・私の体験

- 26 「一声かけて愛を贈ろう」 高路（中国）

知友会通新

- 30 奨学金情報、イベント情報

MEMBERS

- 32 ご入会、ご寄付のご報告（2012年2月、3月）

募金途中報告

- 33 ABK 同窓生募金（2012年3月31日現在）

<表紙> 鏡開き（3月22日バンコクで開催のタイ同窓会主催
「アジア文化会館の一夜」パーティーより）

7月9日から

新しい在留管理制度がスタート！！

留学生への変更事項は？

新しい在留管理制度が今年7月9日からスタートします。新制度では国（法務省）から「在留カード」が発行され、これまでの市区町村での「外国人登録証明書」の交付がなくなります。新しい制度では何が変わるのか。主に留学生に関わる部分にポイントを置いて、見て行きたいと思います。（編集部）

現在の在留管理制度

新しい在留管理制度の説明をする前に、現在の在留管理制度がどうなっているのかを簡単にさらしておきましょう。

日本に一定期間在留する外国人の情報は、入管法に基づく入国管理制度の下、入国・在留資格等に関わる情報を国（法務省）が管理している一方で、外国人登録制度の下、居住地等の情報を地方自治体（市区町村）が管理しています。

このため日本に一定期間滞在する外国人は、正規のビザおよび在留資格で日本に入国、その後住居を置く市区町村の窓口に出向いて、外国人登録申請を行うことになっています。

市区町村の長はこの申請事項を「外国人登録原票」に登録し、申請をした外国人に外国人登録証明書を交付、同時に登録事項を法務大臣に報告をすることになっています。

この外国人登録原票は、例えば外国人がA市からB市に引っ越しをした場合、A市からB市に郵送され、以降の法務大臣に対する登録事項の報告もB市から行われます。

また、外国人の場合は、住民基本台帳法（住基法）に基づく住民基本台帳制度の適用（住民票の作成）がないため、各自治体は在留管理のための制度である外国人登録制度によって得られた情報に基づき、行政サービスを提供しています。

この外国人登録制度は日本に一定期間在留するほぼ全ての外国人に登録の義務があるため、在留資格がない人に対しても行政サービスが行われるという矛盾が生じる一方で、外国人側からしても、在留期間の更新の際などはまず地方入国管理官署に出向き、その後市区町村の役所に出向いて、外国人登録証の記載情報を更新をしなければならないなど、手間が生じていました。

新しい在留管理制度と住基法の改正

こうした問題を解決するために、「新しい在留管理制度」では、現在の入国管理制度と外国人登録制度を入管法に一元化することになりました。この結果、これまでの外国人登録証明書は廃止され、代わりに一定の在留資格をもって日本に中長期間在留する外国人を



在留カードの表面



在留カードの裏面

＜入国管理局 外国人在留総合インフォメーションセンター ☎ 0570-013904、03-5796-7112＞

対象に、氏名、生年月日等の身分事項や、所属機関等に関する情報を記した「在留カード」が法務大臣より交付されます。

また、この「新しい在留管理制度」の導入と同じ日に住民基本台帳法（住基法）が改正され、外国人住民も住民基本台帳制度の対象となるので、今後は日本人同様に住民票が作成されるなど、住民基本台帳制度に基づいた行政サービスが提供されることになります。

新しい在留管理制度の対象者

新しい在留管理制度の対象となる人は下記6つの条件のどれにも当てはまらない人で、この「新しい在留管理制度」の対象者を中長期在留者と呼びます。

- ①「3月」以下の在留期間が決定された人
- ②「短期滞在」の在留資格が決定された人
- ③「外交」又は「公用」の在留資格が決定された人
- ④ ①から③の外国人に準じるものとして法務省令で定める人
- ⑤ 特別永住者
- ⑥ 在留資格を有しない人

＜対象となる人の例＞

留学生、技能実習生、日本人と結婚している人、日系人、企業等に勤めている人、永住者など

＜対象者とならない人の例＞

旅行者、外交官、不法滞在者など

在留カードとは

新たな在留管理制度では上陸許可や在留の許可に伴って中長期在留者に「在留カード」が交付されます。

1) 在留カードの概要

在留カードの大きさは、現在の外国人登録証明書や運転免許証とほぼ同じで、表面には氏名、生年月日等のほか、在留資格や在留期間の満了日、就労制限の有無、在留カードの有効期間等が記載され、(16歳以上の場合)顔写真が表示されます。

就労制限の有無の欄には、就労が認められていない場合は「就労不可」と記載され、就労が認められている場合にはそれぞれの在留

許可に応じた記載がされます。例えば「在留資格に基づく就労活動のみ可」、「就労制限なし」などと記載されるということです。

裏面には住居地（住所）を変更した時などの記載欄、資格外活動許可の内容、在留資格変更申請中または在留期間更新申請中である旨が表示されます。

また在留カードには偽変造防止のためのICチップが搭載されており、カード面に記載された事項の全部または一部が記録されます。

2) 在留カードの有効期間

在留カードの有効期間については、16歳以上の永住者は交付の日から7年、16歳以上の永住者以外は在留期間の満了日までとなります。

16歳未満の永住者については、16歳の誕生日までが有効期間となり、その前に在留カードの更新申請をしなければなりません。

16歳未満の永住者以外については、在留期間の満了日か16歳の誕生日のいずれか早い日までが有効期間となり、16歳の誕生日が先に到来する場合には、その前に在留カードの更新申請をしなければなりません。

3) 在留カードを受け取る時

① 新規上陸の場合

新たに日本に上陸する時で、パスポートに上陸許可の証印を受けて中長期在留者となった場合

② 在留許可の場合

在留期間の更新、在留資格の変更、永住も

しくは在留資格の許可または在留特別許可を受け、中長期在留者となった場合

③ その他の場合

住居地以外の在留カードの記載事項（氏名、生年月日、性別、国籍・地域）の変更届、紛失等による再交付申請の場合

その他、改正に関わるポイント

1) 「留学」の在留期間が最長4年3月に

「技術」、「人文知識・国際業務」等、現在最長「3年」の在留期間が定められている在留資格には、原則「5年」の在留期間が新設されます。また、「留学」の在留資格の場合は、これまで最長2年3月だったものが、大学等の在学期間を考慮して4年3月になります。

ただし、新設された期間はあくまで最長の期間であって、必ずしもその最長の期間が許可されるわけではないということです。

一方で、短期留学など、当初から短期間の在留を予定している場合もあることから、新たに「3月」または「6月」の在留期間が設けられます。ただし「3月」の在留期間が与えられた者は「新しい在留管理制度」の対象にはなりませんから、在留カードは交付されず、また市区町村に住居地の届け出を行う必要もありません。

2) 再入国許可証の事前取得が不要に！

有効なパスポートと在留カードを持つ外国人が、出国後1年以内（それ以前に在留期限が到来する人はその日まで）に再入国する意図を表明して出国する場合は、今までのよう

に事前に再入国許可を受ける必要がなくなります。これを「みなし再入国許可制度」と言います。

ただし、この「みなし再入国許可」の有効期限は1年なので、それまでに再入国しないと、在留資格は失効してしまいます。また在留期間の満了日が、出国日から1年を経過する前に到来する場合は、「みなし再入国許可」の有効期間は在留期間の満了日までとなるので、この満了日までに再入国しなければなりません。

また、このみなし再入国許可により出国した者は、その有効期間を海外で延長することはできません。

なお、出国の際はパスポートと在留カードを提示する必要がありますが、手数料はかからないということです。

3) 資格外活動許可申請が入国時に可能に

新制度移行後は、資格外活動許可申請が、出入国時にできるようになります。

申請対象者は、新規入国者であることで（再入国許可による入国者は対象外）、「留学」の在留資格で3月を超える在留期間が決定されたこと（3月の場合は在留カードが発行されません）となります。

許可される活動の内容は、1週間に28時間以内の活動（風俗営業等に従事する活動を除く）とされます。またこの申請を行えるのは本人のみです。

なお、この出入国港での資格外活動の申請には新しい在留カードの交付が必要となりますが、しばらくの間カードが交付される出入国港は、成田、羽田、中部、関西の4大空港

のみのため、申請ができるのも、これらの空港から入国する場合のみとなります。

現在の外国人登録証明書は

これまでの外国人登録制度は廃止されますが、中長期在留者が今現在所持している外国人登録証明書については、新制度が始まる7月9日以降も地方入国管理官署（地方入国管理局、出張所など）での手続きや、みなし再入国許可制度による出国手続き、市区町村での住居地関係の手続きにおいては、一定の期間「在留カード」とみなされます。中長期在留者は地方入国管理官署における新たな在留カードの交付を伴う各種届出・申請の際に、新しい在留カードに切り替えることになります。

なお外国人登録証明書が在留カードとして使える期間は次の通りです。

<永住者>

- ・16歳以上 2015年7月8日まで
- ・16歳未満 2015年7月8日か16歳の誕生日のいずれか早い日まで

<特定活動>

- ・16歳以上 在留期間の満了日か2015年7月8日のいずれか早い日まで
- ・16歳未満 2015年7月8日か16歳の誕生日のいずれか早い日まで

（「特定活動」とは、特定研究活動等を指定されている者に限られます）

<それ以外の在留資格（留学生など）>

- ・16歳以上 在留期間の満了日まで
- ・16歳未満 在留期間の満了日か16歳の誕生日のいずれか早い日まで

所属機関等が行う届け出

外国人を受け入れている所属機関は次の届け出が必要になります。

<就労資格を有する中長期在留者に関する届出>

中長期在留者のうち「技術」等の就労資格（「芸術」、「宗教」、「報道」、「技能実習」を除く）をもって在留する外国人を受け入れている所属機関は、その中長期在留者の受入れを開始（雇用・役員就任等）又は終了（解雇・退職等）した場合には、14日以内に地方入国管理官署への出頭又は東京入国管理局への郵送により法務大臣に届け出なければなりません。

<留学生に関する届出>

中長期在留者のうち「留学」の在留資格をもって在留する留学生を受け入れている教育機関は、留学生の受入れを開始（入学・編入等）又は終了（卒業・退学等）した場合には、14日以内に地方入国管理官署への出頭又は東京入国管理局への郵送により法務大臣に届け出なければなりません。

また、留学生を受け入れている教育機関は、毎年5月1日と11月1日における留学生の受入れ状況を、それぞれ14日以内に地方入国管理官署への出頭、又は東京入国管理局への郵送により法務大臣に届け出なければなりません。

<配偶者に関する届出>

中長期在留者のうち配偶者として「家族滞在」「特定活動（ハ）」「日本人の配偶者等」及び「永住者の配偶者等」の在留資格をもつ

て在留する人が、配偶者と離婚又は死別した場合には、14日以内に地方入国管理官署への出頭又は東京入国管理局への郵送により届け出なければなりません。

これらの届出は7月9日の施行後に新しく在留期間の更新許可や在留資格の変更許可などを受けた後から、届出の義務が生じることになります。

各機関での対応と手続き

それでは、出入国港、市区町村、入国管理官署のそれぞれで、どのような手続きができるのかを確認しておきましょう。

① 出入国港（空港、港）で

日本に新規入国し、在留審査の結果「中長期在留者」となった人には、これまでのパスポートへの「上陸許可の証印」に加えて在留カードが交付されます。

なお、しばらくの間、在留カードが交付されるのは、成田、羽田、中部、関西の4大空港のみで、それ以外の出入国港においては、在留カードは交付されません。この4大空港以外の出入国港から入国する場合は、上陸許可の証印の近くに「在留カード後日交付印」が押印されます。この場合は、中長期在留者が市区町村の窓口に住居地の届け出をした後に、その住居地宛に在留カードが郵送されることになっています。

また上記4大空港では、新規入国者（再入国許可による入国者は対象外）および在留資格「留学」が決定され、在留カードが交付された人は、資格外活動許可の申請を行えます。

② 市区町村の役所で

日本で住むところ＝住居地が決まったら、その住居地のある市区町村の役所（区役所や市役所）に出向いて、住居地の届け出を行います。この届け出は、住居地を定めた日から、14日以内に行うことが義務づけられています。この際、市区町村の窓口で在留カードを提出します。

日本に入国した際交付された在留カードの表面の住居地欄には「未定（届後裏面に記載）」と記載されていますが、住居地の届出を行うことで、その場で在留カードの裏面に住居地が記載されることになります。

また、前述した4大空港以外から入国した人で在留カードを受け取っていない人、パスポートに「在留カード後日交付印」を押印されている人は、在留カードの代わりにそのパスポートを提示して住居地の届出を行います。その場合、届け出た住居地宛に、在留カードが郵送されます。

こうして日本到着後は区役所、市役所等に住居地の届け出をするわけですが、後日、ほかの場所に引っ越しをする場合は、移転前の市区町村に転出届を出し、移転先の市区町村にて在留カードを提出して住居地の届出を行います。

これらの手続きは引っ越した日から14日以内に、区役所、市役所等に届け出ることが義務づけられています。

このほか、在留資格変更許可等に伴い、これまで中長期在留者ではなかった者が新たに中長期在留者となった場合も、その許可を受けた日、もしくは住居地を定めた日のいずれか遅い日から14日以内に、その市区町村に住居地を届け出なければなりません。

③ 地方入国管理官署で

地方入国管理官署（地方入国管理局やその出張所）へは住居地以外の変更があった場合に outward することになります。例えば、氏名、生年月日等の変更、在留カードの有効期間更新申請、在留カードの再交付申請、所属機関、配偶者に関する届出などです。在留カードを紛失したり、盗難にあった、ひどく汚してしまったといった場合も再交付を申請します。これらの申請事項について在留審査をして、新しい在留カードが交付されます。

これらの届け出についても、変更があった日から14日以内に地方入国管理官署に届け出ることが義務づけられています。

留学生は今すぐ動く必要なし

現在、「留学」の在留資格をもって日本で勉強している留学生は、7月9日以降も、この新制度のためにすぐに何かをしなければいけないということはありません。新制度スタート前に、住居を置く区役所や市役所から、現在の登録事項に変更がないか確認の通知が届くことになっているようなので、変更がなければそのまま、もし変更事項があればそのことを市役所、区役所の担当者に連絡をするだけです。

そして在留カードについては、7月9日以降に、進学、就職などによる新たな在留資格の申請、在留期間の更新を行う際に発行されることになります。

それまでは、現在の外国人登録証明書が（7月9日以降も）在留カードと同じ役割を果たすため、大切に保持して下さい。

多謝！ ABK 募金 タイ、マレーシア、シンガポール訪問記

『飲水思源』

各国の元留学生の「ABK 同窓生募金」に寄せる

「恩返し」の思いと「後に続く若い人材の育成事業への協力」に寄せる熱い思いに

多謝！

当協会の 50 周年記念事業の一環として、日本語コースの学校法人化と新校舎建設が企画され、その申請に必要な設立運営準備金（5,000 万円）を「ABK 同窓生募金」として、2010 年 6 月から同窓生並びに関係者の皆様へご協力をお願いを開始した。ところが、昨年 3 月 11 日の東日本大震災とその後のタイの大洪水等の影響で募金が難航し、目標の達成が危ぶまれた。しかし、洪水の影響で 2 度に亘り延期した、タイ ABK-AOTS 同窓会主催（TPA・TNI 共催）の ABK 新校舎のための募金パーティーが、ついに 2012 年 3 月 22 日に開催されることになり、沢山の参加者を集め大成功を収めた。一方、協会からの再度の募金協力の呼びかけに答え、マレーシアでは昨年 11 月、同窓生たちが自主的に「ABK 同窓生募金のための発起人会」を立ち上げ、忙しい仕事の合間、会合を重ね、知恵を出し合い、元日本留学生に働きかけ短期間に驚くべき成果を挙げた。タイの募金パーティー参加後の小木曾・布施のマレーシア訪問は、発起人会の要請で急遽決まったもので、いくつかの集まりに参加し、お礼を述べ説明を行った。20 年振り 30 年振りの同窓生同士の集まりにもなった。タイ、マレーシアからの心のこもった支援の背後には、日本留学で ABK に世話になった「恩返し」、そして、「後輩たちの将来のために」ABK を支えたいという同窓生たちの熱い思いがあった。

1977 年に私費留学生として日本へ留学した Ng Kim Chai さん（注）の ABK 同窓生 facebook への投稿文を紹介して、この度のタイ、マレーシア、シンガポール訪問の報告に入りたい。

「多くの留学生にとって、ABK は日本における最初のこころの故郷です。ABK の職員および日本語学校の先生たちは彼らの里親的な存在です。18 歳そこそこの若者は、その一年間で日本語を習得しななければならないし、更に日本語で数学、物理、化学などの科目を勉強する必要があります。そして、大学入学試験というハードルを乗り越えるために、たくさんの不安を抱えながら、まだ慣れない新しい生活環境の中で懸命に努力していました。そのとき、ABK の職員および日本語学校の先生たちは親切に且つ真剣に彼らの悩みに相談に乗ってあげたり、何だかの助けをしたりしたはずです。ABK は Give without remembering であり、留学生たちは Take without forgetting であることだと思います。」 < ABK 同窓生 facebook より >

（注）1977 年に私費留学生として日本に留学。国際学友会を経て、東京工業大学に。自身が日本留学前に保証人の問題で大変苦労した経験から、マレーシア留日学生会（MSAJ）福祉部担当として、日本へ留学を希望するマレーシアの学生のために学生会が保証人の紹介、日本語学校の申請手続き及び日本についてからの留学生のお世話などの活動を試みに始める。そして、あるマレーシア学生の身元保証人を引き受けてもらうため、ABK の留学生相談室へ。初めは ABK の職員たちが、後に理事長名義で身元保証を引き受ける。1981 年から ABK の保証で日本へ留学するマレーシア私費生の数が増加。時を一にしてマレーシア政府の Look East 政策が開始し、マレーシアからの留学生数は急増する。（詳細は P42 参照）

タイ、マレーシア、シンガポール訪問日程

旅 程：2012年3月20日（火）～27日（火）

目 的：ABK 同窓生募金関連出張

出張者：小木曾理事長、布施 ABK 同窓生募金担当

（BKK= バンコク、KL= クアラルンプール、JB =ジョホールバル、SIN= シンガポール）



3月20日（火）	12:00	成田発 TG-643
	16:30	BKK 着
		BKK 泊 (Hotel Windsor Suites Bangkok)
3月21日（水）	午前	TNI(泰日工業大学) 表敬訪問
	午後	Air Ticket 購入
	17:00	3/22 のパーティーの打合せ
3月22日（木）	午前	TPA(泰日経済技術振興協会) 表敬訪問
	14:00	会場へ荷物搬入
	18:00	タイ ABK-AOTS 同窓会主催「ABK 同窓生募金パーティ：『ABK の一夜』（タイ同窓会 44 周年記念）開催（於、Thai Army Club, BKK）
	21:00	閉会
3月23日（金）	10:55	BKK 発 FD-3502
	12:15	KL 着 Mr. Ang Khoo Chye & Mr. Foo Hee Hiang 出迎え、アテンド
	18:00	お礼と説明・夕食会
	21:00	同窓生の集会（於、KL JAGAM 集会所）
		KL 泊 (Hotel Armada Petaling Jaya)
3月24日（土）	朝	KL 見学
	昼	Lee CP・黄瑞英夫妻他・昼食
	午後	KL 発 Mr. AnKC の車で JB へ移動
		JB 着 集会会場へ直行
	18:00	同窓生との集会とパーティ（募金のお礼と説明）： 於、Mr.Lee Mow Tiam（李茂添）宅
		JB 泊 Grand BlueWave Hotel Johor Bahru (Mr.Ng Kim Chai アテンド)
3月25日（日）	午前	JB 発 Mr. Kenneth Wong の車で SIN に入る
		SIN 着
	昼	Mr.Kenneth W アテンド・昼食
	17:00	同窓生等との集会；募金のお礼と説明・夕食会
		SIN 泊 (Switss Hotel)
3月26日（月）	14:40	SIN 発 FD-3504
	16:05	BKK 着
	22:10	BKK 発 TG-640
3月27日（火）	6:20	成田着

日本文化のタベー アジア文化会館の一夜 タイ ABK・AOTS 同窓会第44周年記念& 日本・ABK 新校舎募金パーティー

日時：2012年3月22日（木）18:00 - 21:00

場所：タイアーミークラブ マカワンランサン ボールルーム、ビパワディ路

プログラム

- | | |
|---------------|---|
| 18:00 - 18:30 | 登録と羽織受取り |
| 18:30 - | 日本文化のタベ 開幕（ボールルームにて） |
| 18:00 - 18:45 | タイ王立海軍バンド生演奏 |
| 18:45 - 18:55 | 泰日工業大学 (TNI) 学生による日本の踊り（よさこいソーラン踊り） |
| 18:55 - 19:00 | 来賓紹介 |
| 19:00 - 19:10 | タイ国王への乾杯 ピンピライ・ラトパイブーン タイ ABK・AOTS 同窓会会長（全出席者起立） |
| | ピンピライ会長 会の趣旨説明 |
| 19:10 - 19:25 | 鏡開き
井内攝男 ジェトロ・バンコク事務所長、ブリュウバン・ダマポーヌ タイ国家警察長官、宮原豊 AOTS 理事、小木曾友 ASCA 理事長、スボン・チャユツァハキツ TNI 理事長、タノン・ビダヤ博士、プラユーン・シオワタナ TPA 会長、クリサダ・ヴィサワティラノン TNI 学長 他 |
| 19:25 - 19:35 | 故穂積五一先生はじめ日タイ関係者故人を偲び黙祷
小木曾友 ASCA 理事長 挨拶 |
| 19:35 - 20:15 | 鼎談 ABK(アジア文化会館)の思い出、楽しかったこと、友情等（スボンさん、スウィットさん、ブーンサクさん、ヴィロートさん） |
| 20:15 - 20:40 | 特別寄贈品のオークション
（ABK 同窓生募金オークションに参加される方はスタッフまでお申し出下さい） |
| 20:40 - 20:50 | 特別寄付者への感謝盾贈呈 |
| 20:50 - 20:55 | 福引 |
| 20:55 - 21:00 | 日本の歌の合唱 |

タイ同窓会主催パーティー

「よさこいソーラン踊り」で始まり、 「上を向いて歩こう」で終わった

アジア文化会館同窓生募金に協力するための「日本文化の夕べ」は、2012年3月22日、午後6時30分、タイ王立海軍バンドの生演奏で幕が開き、TNIの学生たちによる華やかで元気な「よさこいソーラン踊り」が披露された。会場のバンコク・アーミークラブ舞踏場は300人の出席者でいっぱいだった。皆、約7000円の会費（寄付金を含む）を払って参加された方々である。

この会は、昨年（2011年）10月に予定されていたが、タイを襲った大洪水のために開催不能となり延期されていたものである。一時は開催は無理と思われていたが、ピンピライ会長を始め、タイABK・AOTS同窓会の皆様の熱意と、TPA、TNIの温かいご支援によってようやく実現を見たものである。日本からは小木曾ASCA理事長と布施理事が駆けつけた。

会は、日本の羽織を着用したスポンTNI理事長、タノン元財務相、井内ジェトロ・バンコク事務所長、小木曾ASCA理事長、宮原AOTS理事等による鏡割りを行った後、ピンピライ・タイ同窓会会長の挨拶、小木曾ASCA理事長のお礼の言葉につづいて、タイ同窓会の大先輩たち（スポン、スウィット、ブーンサック、ヴィロート各氏）による鼎談「アジア文化会館の楽しさ、思い出、友情」が行われた。

当日の呼び物である特別記念品のオークションでは、ABKから出品した2品—「九谷焼の花瓶」と「棟方志功の自画像（作者真筆の署名入り）」は、それぞれチラパーン夫人、およびスウィットさんによって高額で落札された。そして、この会のために特別寄付を下さったタイ企業の代表者に感謝の記念楯が贈呈された後、最後に出席者全員により「上を向いて歩こう」を合唱し閉会した。多謝。



マレーシア・シンガポール訪問記

■ 3月23日夜

バンコクからエアアジア (LCC 格安航空) で KL 国際空港の LCC 専用ターミナルに着いた小木曾・布施を Ang Khoon Chye (汪坤才) さん、Foo Hee Hiang (符気強) さんが出迎えて下さった。(写真①、②) この日の夜は、二つの会合があった。まず、最初は、Beh Chor Kim さんをはじめとする元留日学生の大先輩を交えた夕食会。(写真③) ここで「ABK 同窓生募金」運動を推進する後輩たちの熱意にうごかされた Beh さんから、10 万円寄付の領収書を示せば心臓病のチェックを無料で行うという申し出があったことや、元国費留学生で IT のベンチャー起業に成功し、今やマレーシアで 20 指に入る優良企業の社長となった Goh Peng Ooi さんから高額の寄付があったことなどが紹介された。続いて会場を別に移し、集まっていた元日本留学生 (主として ABK 日本語コース 1980 年代後半から 90 年代初めの卒業生約 20 名) の方々に「ABK 同窓生募金」の説明と協力のお礼を述べた。



① Ang Khoon Chye さん (左) と



② Foo Hee Hiang さん (左) と



③ 最初の夜の夕食会



④ 同窓生募金説明の様子



⑤ 参加者が一人ずつ自己紹介



⑥ 説明会に参加した同窓生達

3/23 クアラルンプール会合 (お礼・寄付事業説明) 1 参加メンバー (11 名)

*記号 CJ81=Came to Japan (来日) 1981 年の意味。以下同じ

Ang Khoon Chye (汪坤才、CJ81)、Dr.Beh Chor Khim (馬楚欽、CJ77)、Foo Hee Hiang (符気強、CJ83)、Goh Peng Ooi、Loke Pooi Choon (陸培春) 夫妻、Soh Keh Woei (蘇克偉、CJ83)、Tang Kok Lian (湯国亮、CJ83)、Teh Chong Yee (鄭忠義、CJ83)、小木曾 友、布施 知子

3/23 クアラルンプール集会（お礼・寄付事業説明会）2 参加メンバー（26名）

Ang Khoo Chye（汪坤才、CJ81）、Chan Huan Pang（曾煥邦、ABK89）、Chan Kok Foo（陳国富、ABK95）、Colin Yong（楊国霖、ABK91）、Foo Hee Hiang（符氣強、CJ83）、Lau kai Liang（劉開量、ABK91）、Lim Soon Hang（林順桁、ABK91）、Loke Pooi Choon（陸培春）夫妻、Low Han Peng（刘汉平、ABK88）、Ng Chin Keong（黄振強、ABK84）、Ng Choi Lai（吳翠麗、ABK92）、Ong Thye Beng（王泰明、ABK83）、Ooi Ai Lee（黄愛麗、ABK85）、Soh Keh Woei（蘇克偉、CJ83）、Tang Kok Lian（湯国亮、CJ83）、Teh Chong Yee（鄭忠義、CJ83）、Teo Chuan Soon（張川順、ABK83）、Yap Shinn Woei（葉信偉、ABK86）、小木曾 友、布施 知子

■ 3月24日 昼

午前中は Foo HH さんご夫妻（夫人の陳妙晶さんは ABK 日本語コース 1989 生）のご案内で、KL 市内観光を行なった。（写真⑦）なお、この 4 月から ABK 日本語コースへの入学が決まっている Foo HH さんの娘（符優綺）さんと従兄の符致盛さん二人も一緒に加わった。その後、1970 年代に日本留学生だった李志保・黄瑞英さんご夫妻招待の昼食会が行われた。（写真⑧）ご夫妻は新星学寮の大先輩で、「ABK 同窓生募金」に多額のご寄付を下さっていた。出席者は、李ご夫妻、Ang KC さんご夫妻、Chou Soo Lian（周素蓮・新星学寮出身）さん、小木曾、布施。会の途中で、Koh Hong Kwee さん、Lee Yen Ping さんとも電話で連絡をとっていただき、寄付のお礼や近況を話した。午後は、Ang KC さんご夫妻の運転で JB（ジョホールバル）まで移動。どこまでも伸びる真っ直ぐな道と、果てしなく続く両側のパーム椰子林の緑が印象的だった。



⑦ Foo HH さんご一家と



⑧ 李志保・黄瑞英さんご夫妻招待の昼食会

3/24 クアラルンプール会合（お礼・寄付事業説明）3 参加メンバー（6名）

Lee Check Poh（李志保）・黄瑞英夫妻、Evelyn SL Chow（周素蓮）、Ang Khoo Chye（汪坤才、CJ81）夫妻、小木曾 友、布施 知子

■ 3月24日 夜

JB の Lee Mow Tiam（李茂添）さん宅で開かれた「2012 年元日本留學生の会」に合流した。（写真⑨）元日本留學生（日本語学校は ABK、国際学友会、国



⑨ 2012年3月24日 元日本留学生の会の模様（於 マレーシア・ジョホールバル Lee MT さん宅）

際学園など様々）約60名とそこのご家族、計80名位の大集会で、何十年ぶりかの再会を果たし旧交を温め、「ABK 同窓生募金」についての説明と熱烈な協力への謝意を述べた。ABK 第一期生の Won Tzong Chyang さんも仕事で滞在の中国から急遽かけつけて参加してくれた。

3/24 ジョホールバル集会（お礼・寄付事業説明）&Party 参加メンバー（77名）

Alex Ting、Amy Tan Choong Noi（陈春莲、CJ83）、Ang Khoon Chye（汪坤才、CJ81）、Carol Kang Shiow Lian（江雪蓮、CJ83）、Chang Chew Chin（張昭成、ABK83）、Chaw Kam Shiang（周錦生、CJ85）、Cheah Lee Ying（謝麗英、ABK92）、Chong Cheng Siang、Dr.Pang NY（彭南友）、Fong Cheong Thiam（洪昌添、ABK85）、Foo Hee Hiang（符気強、CJ83）、Foo Siang Seng（符祥盛、CJ81）、Foo Suan Toon（符傳俊）、Gan Teck Yeow（顔得耀、ABK93）、Goh Kim Leng、Heong See Yoon（香世运、ABK89）、Marcus Kong（CJ84）、Jun Chang（張潤潤、CJ92）Kenneth Wong（黄復翔、ABK84）、Khu Hwa Leng（邱華龍、CJ85）、Kong Guan Wie（江元偉、CJ84）、Kong Kwee Song（江回松、ABK89）、Kong Sian Shih（江幸柿、CJ89）、Lai Yoon Poh（赖永保、CJ80）、Lee Liong Mui（黎亮梅、CJ82）、Lee Mow Tiam（李茂添、CJ83）、Leong Khee Hoo（梁其和、ABK83）、Leong Thiat Eng（梁德榮、CJ85）、Lew Kim Song（劉金雄、CJ84）、

Lee Tiam Hing (李天興、CJ82)、Liang Teck Meng (梁德明、ABK92)、Lim Hock Lai (林福来、ABK85)、Loke HY (陆汉宇、ABK87) / June Tan (陈素芯、ABK87)、Low Leong Meng (羅亮明、CJ82)、Lwee Lew Chen (雷柳菁、ABK90)、Marcus Kong (CJ84) / Jun Chang、Ng Kim Chai (黄金財、CJ77)、Ng Mee Wah (吳劍華、ABK83)、Ng Thian Eng (黃殿英、ABK84)、Ngiam Tee Seng (嚴世清、CJ89)、Ong Yee Meng (王玉明、CJ82) Pang Choon Boon (彭俊文、CJ86)、Sam Cha Peng (覃澤平)、Shia Wei Jong (余維忠、CJ87)、Sim Eng Kang (沈永江、CJ84)、Sim Kee Hong (沈其豐、CJ83)、Soh Keh Woei (蘇克偉、CJ83)、Su Kui Sheng (苏桂昇、ABK90)、Tan Boon Liang (陳文亮、CJ81)、Tan Chaik Kwang (陳澤光、CJ84)、Tan Kee Hang (陈继汉、ABK84)、Tan Peck Ming (陳碧明、CJ83)、Tang Chect Yong (唐志勇、ABK85)、Tang Miow Chin (湯妙晶、ABK89 卒)、Teh Chong Yee (鄭忠義、CJ83)、Teo Kian Song、Teo Tiam Hwa (張添華、CJ86)、Thye Meng Yu (鄭茗友、CJ84)、Wong Chao Hsiung (黃超雄、CJ83)、Wong Choon Leng (黃俊霖、CJ89)、Wong Jiunn Shyong、Wong Seng Keng (黃成耕、CJ86)、Wong Tzong Chyang (黃宗強、ABK83)、Wong Yeh Hui、Yong Chin Chew (楊清洲、CJ82) Yong SF (杨小芳、CJ83)、白石和也、小木曾友、布施知子

■ 3月25日

午前中、Kenneth Wong さんの案内で中華街界限を見学した。夜、シンガポール在住のマレーシア同窓生との夕食懇談会。(写真⑩) 出席者は、Anthony Siau、Lim Chee Tian、Foo Soo Kong、Ee Ley Tiong、Mok Swee Haw、Tang Wee Seng、Kenneth Wong の皆さん。そして、大先輩の Yap Meng Fatt さんが後半加わった。ABK の思い出話に興じ、日系企業のあり方をめぐって議論白熱した。

3/25 シンガポール会合 (お礼・寄付事業説明) (10名)

Anthony Siau (ABK87)、Ee Ley Tiong (余励忠、ABK87)、Foo Soo Kong (符樹光、ABK86)、Kenneth Wong (黃復翔、ABK84)、Lim Chee Tian (ABK90)、Mok Swee Haw (莫垂豪、ABK86)、Tan Wee Seng (陳為勝、ABK84) Yap Men Fatt (葉明發、CJ75)、小木曾友、布施知子

3/26 空港に見送り

空港で Low Kim Lee (劉金莉、ABK84) さんと再会した (写真⑪左から2人目)



⑩ シンガポール在住の同窓生と



⑪ チャンギ国際空港で

マレーシアでの「ABK同窓生募金」 運動はこうしてはじまった

2010年6月26日 Chang Chew Ching(張昭成)さんが小木曾理事長より“ABK同窓生募金”のメールを受けた。次の日、Chang CCさんはABK同窓生の友人にそのメールを転送した。

2010年8月23日 32名の同窓生〔大部分がABK日本語コースの初期のころ(1990年まで)の卒業生、一部国際学友会出身、ほとんどシンガポール在住〕の寄付の総額JPY559,125をABKの口座に送金した。これが第一回目の寄付だった。

2011年旧正月新年会 Foo Hee Hiang(符気強)さんの家(KL)で元留学生の仲間の新年会を開いた時、Ang Khoon Chye(汪坤才)さんからこの募金の話が出た。Ang KCはNg Thian Eng(黄殿英)さんから聞いたようだった。確かに、同日出席した仲間の大多数は既にChang CCさんからの連絡を受けていた。Ang KCさんがその場で概略を説明し、皆がAng KCさんに連絡のメールアドレスを渡したが、その後、Ang KCさんは多忙になり、そのままになってしまった。

2011年9月 JB(ジョホールバル)の元留学生たちのゴルフコンペの後、Lee Mow Tiam(李茂添)さんより元留学生を集める会の提案がなされた。

2011年9月 ある日、シンガポールのNg Mee Wah(呉美華)さんからFoo HHさんに連絡があり、同じ高校の留日仲間がJBの飲

み屋に集まった。その場でLee MTさんから一度集会をやろうとの提案があり、11月12日、パーティーがKLで開催されることになった。パーティーの段取りのためJBで数回飲み屋に集まっているうちに、Lee MTさんがNg Kim Chai(黄金財)さんを誘い、飲み屋での仲間になった。その後、Chang CCさん及びKenneth Wong(黄復翔)さんから募金の協力要請のメールが入ってきた。Ang KCさんはじめその場の人たちは、断る理由が見つからない程関心をもっていたので、Lee MTさんはすぐに賛同した。Ng KCさん、Ang KCんを先頭に立てようとの意見が出て、その流れで発起人グループが結成された(下記の11人、敬称略)。

Ng Kim Chai(黄金財)、Ang Khoon Chye(汪坤才)、Tan Boon Liang(陳文亮)、Lee Mow Tiam(李茂添)、Tey Chong Yee(鄭忠義)、Soh Keh Woe(蘇克偉)、Chang Chew Chin(張昭成)、Tang Kok Lian(湯國亮)、Foo Hee Hiang(符気強)、Leong Thiat Eng(梁德榮)、Kenneth Wong(黄復翔)、以上11人。〔後、12月に1人追加: Lock Hon Yee(陆汉宇)、合計12人〕。

11月1日 Kenneth Wongさんから、「ABKへ再寄付しよう」とのメールが、Chang CCさんとFoo Siang Seng(符祥盛)さん宛てに

送られた。その場で Foo SS さんが先まず寄付をすると約束をし、Foo SS さんも Chang CC さんと一緒に纏め役を引き受けることになった。Foo SS さんが英文の呼びかけ文を書き、Chang CC さんが中国語の呼びかけ文を作った。その時点で、Foo HH さんが集会の名簿も大体纏めていたので、Chang CC さんがその名簿にもとづき、全員に寄付の呼びかけを行った。11月12日の集会は絶好のチャンスだと皆は思っていたので、Lee MT さんがまず RM1000 (約 26,000 円) の寄付をお願いするリストを作ってメールを発信した。これが結果として RM1000 の寄付者が多くなった理由だった。

11月2日～ その次の日から Lee MT 夫妻はじめ、何人かのメンバーからすぐ寄付金があった。そのおかげで、この運動がさらに広がりを見せはじめた。

11月24日 この時点で、すでにかかなりの寄付金が集まっていた。Foo HH さんの家の集会では、Ang KC さん、Ng KC さんを加えて、その運動をどういう風に更に広く展開するかの議論を行った。もちろん、Foo HH の家で集まる前に、Ang KC さん、Ng KC さんらはメールなどでいろいろアイデアを出してくれていた。

12月頃 Ang KC さんが JB にきて、発起人グループの打合せを行なった。この時 Ang KC さんから RM100,000 の目標が出されたが、はっきり言って、その場では誰も自信がなかった。

12月26日 Gary Tang (湯國亮) さんの「新居のお祝いパーティー」があり、Gary

さんは文部省国費学生との繋がりが強いので、出席者には元 MSAJ 会長 Foo Keah Keat さんがいた。そのパーティーで Ng KC さんから Foo KK さんに募金の説明を行い、直ちに Foo KK さんから文部省学生に対して呼掛けの協力が得られた。そして旧正月に再度 Gary さんの家で「新年パーティー」を行なうことになった。そして暮に Foo HH さんから小木曾理事長にいろいろな資料の送付の依頼をした。

2012年旧正月新年会 (KL) 新年会に Goh Peng Ooi さん、Beh Chor Kim さん、Foo KK さん、Tee Choon Hong さん、Chuah Yeon Hang さん等の大先輩が集まった時、Ng KC さん、Ang KC さんから募金の説明をした。その場で、Goh さん、Beh さんから多額の寄付の協力を得た。Jagong Facebook の話もこのパーティーで Chuah さんからのアドバイスがあり、募金のことを Jagong に掲載することになった。

その後 Foo KK さんが Jagam KL の新年会にも呼掛けを行い、シンガポールの Wong Kok Hoi さんへの再度の呼掛けも行なった。

2月 ABK の布施さんからのメールで、小木曾理事長がタイ同窓会主催の募金パーティーへ参加のためタイに行かれる予定を知り、Ng KC さんからマレーシアにも寄って頂こうとの提案が出され、3月24日の JB での歓迎パーティー開催の運びとなった。費用を抑えるために、歓迎パーティーの会場は Lee MT さんのお宅でお願いすることになった。(文責 小木曾)

地域の魅力でアピール！**国立大学法人 琉球大学**

日本学生支援機構が公表した2011年度の留学生数調査によると、日本で学ぶ留学生の数は5年振りに減少した。その理由には東日本大震災による福島第一原発事故や、歴史的な円高などいくつかの要因があげられるが、目には見えないものとして、日本経済のブランド力低下という根本的な要因を無視することは出来ないだろう。もっともその一方で、“クールジャパン”という新たな日本ブランドが世界から注目を集めている。そのカテゴリーはアニメやゲームなどのポップカルチャーに止まらず、日本の伝統文化や自然、料理などにも範囲は広がり、それらに魅せられて日本留学を志す若者も増えている。こうした状況の中、特に地方の大学は学問面での実績のみならず、いかに地域の文化や特色を大学の魅力に絡めてアピールしていくか、これまで以上に考えていく必要があるのではないだろうか。

そこで今回は、地方の中でも異彩な魅力を放つ沖縄の琉球大学にお邪魔して、同校の留学生の現状を伺うとともに、短期留学中のみなさんに沖縄を訪れた理由についてうかがった。(取材2011年12月)

インタビュー

琉球大学 学術国際部国際課 専門職員
内原厚志 氏

——琉球大学に在籍する留学生の内訳を教えてください。

現在全体で280名ほどの留学生が在籍しており、そのうち約60名が学部学生で約120名が大学院生です。残りの約100名は研究生や科目等履修生、特別聴講学生等の非正規生です。なお、特別聴講学生のほとんどは、協定大学から受け入れている短期留学生で、約60名在籍しています。

——留学生向け授業などで、力を入れていることなどがあれば教えて下さい。

これまで、卒業後は帰国するという学生が多かったのですが、徐々に日本で就職したいという学生が増えまして、これに対応するた

めの努力をしています。本学は政府のアジア人財資金構想プロジェクトのコンソーシアムとして、平成19年から23年3月まで、就職のための日本語、日本ビジネス教育等のプログラムを行ってきたのですが、その間どんどんプログラムへの参加を希望をする留学生が増えましたので、プロジェクト終了後も単位を付与する形で「ビジネス日本語」という授業を開講し、希望する学生の就職につなげようと支援を行っています。今現在は30名ほどの留学生がこの授業を受けています。

——留学生の就職先は沖縄県内が多いのでしょうか。

県内がほとんどなのですが、県外に行きたいという方も少なからずおりますので、求人情報については幅広く集める努力をしています。

——学部の方の入学ルートというのはどのようなものでしょう。沖縄県内の日本語学

校から入学される方が多いのでしょうか。

留学生は工学部と法文学部に多いのですが、本学の場合、県内の日本語学校から入学してくる学生というのは少ないですね。日本語学校修了生の場合は、いったん聴講生である科目等履修生になって、そこでがんばって日本語力と基礎学力をつけてもらい、日本留学試験を受けて、学部に入學するというケースが多いと思います。その他は母国で日本留学試験を受けての直接入學といったケースです。

——留学生が貴校を選ぶ理由は何でしょう。

学生が本学を選んだ理由については、全体としては把握していません。その件と合わせて、各学部がどのようなニーズ、目的を持って留学生の受け入れを行っているのかということについても、いずれ調べないといけないとは思っています。

これは私の想像ですが、300名近い留学生のうち、200名強がアジアからの留学生なので、一番は母国から距離的に近いというのが大きな理由で、その他に、温暖な気候で生活がしやすいということも沖縄が選ばれる理由にあるのかなと思います。

——震災、原発の影響はありましたか。

沖縄県としての影響はまったくなかったのですが、留学生本人よりも両親が心配して、中国や韓国等の私費の学生6人が入學を辞退しました。また、短期留学生でもハワイとフランスの学生が一時帰国してそのまま帰りませんでした。学生本人は戻りたいのですが、いくら説明をしても、親が「これからが危なくなるから、行くな」ということで、留學を断念したということです。

私たちとしては、震災発生当時、「沖縄は何も問題はない」とアナウンスしていましたが、



内原氏

もちろんそう言いきれない根拠はありません。東日本地域に比べれば心配をする必要はないということなのですが、やはり母国のご家族は心配でしょう。たしかに保証することではできませんから、ここは諦めるしかありません。

——次に、留学生のための宿舎について教えていただけますか。

国際交流会館という留学生専用宿舎があり、単身者用の部屋が72室、家族用を含めると84人が入居できます。ただこれだけでは200名ほどが溢れますので、そのうち150名ほどを日本人学生と共同の学生寮に入れています。残りの40人～50人は学外のアパート等に住むことになりますが、大学が確保している部屋数としてはかなり良いのではないかと思います。ただ、全ての留学生に安心して本学に来てもらうためには、部屋数に関しては十分に確保しなければならないと思っています。

——寮や大学近辺のアパートの家賃はどのくらいなのでしょう。

国際交流会館の単身室はバス・トイレ、家具付きで5,900円です。一般寮は3種類あり、一番高いところは維持費を含めて1万9,000円で、他は約9,000～1万3,000円です。これが民間のアパートになると、だいたい2.5



琉球大学のキャンパス内。どの建物にもシーサーが鎮座して見守ってくれているのは沖縄ならではの。しかし、もう少し琉球を感じさせるキャンパス作りであれば、沖縄の大学としての魅力はさらに増すのではないだろうか

万円～4万円になります。今、沖縄地域の留学生は日本語学校生も含めるとおよそ640名ですが、アパートに住んでいる学生の中には家賃が厳しいと感じている人もいますから、県内の大学で組織している「沖縄地域留学生推進協議会」を通じて、例えば県営団地などにも入れてもらえるよう県などとも調整をしています。

———**沖縄地域留学生推進協議会は、琉球大学の留学生センターが事務局になっているそうですが、活動内容を教えていただけますか。**

これは私費留学生を支援しようという目的で発足された組織で、県内の8大学全てが加盟しています。沖縄県内には私費留学生が多いということで、この留学生推進協議会で、各市町村や地方公共団体等に支援依頼の呼びかけをしています。例えば先ほどの宿舍提供に関することや、冠付き奨学金創設のお願いなどです。小さなことですが、バス券や商品券などをいただいて配布するといったことをしています。今のところ目立った成果というのはあまりないのですが、毎年留学生を招待した交流パーティーを開くなど、みんなで楽

しく沖縄での留学生活を送りましょうということで交流の場を設けています。

———**沖縄の各大学は留学生の受け入れをどのように考えているのでしょうか。**

各大学、理由はそれぞれだと思いますが、留学生を増やしたいという思いは当然持っていると思います。特に私たちは留学生担当ということもありますから、とにかく留学生を増やしたい、獲得したいという思いがあります。そのため、大阪や東京で開かれる国費の学部留学生の進学説明会にも参加するなど努力はしていますが、まだまだアピール不足を感じます。

———**沖縄の大学としてどのようなアピールをされるのでしょうか。**

まず沖縄の環境や地形などからその魅力を説明していくことですね。そしてそれに関連した本学ならではの授業、例えば「ナショナルツーリズム」のクラスがあるといった点などをアピールしています。ただ、以前香港のある大学に行きましたが、そこの学生は誰も沖縄のことを知りませんでした。ですから大学の努力はもちろんですが、沖縄としての知



南米のジャングル、ではなくてキャンパス内です

名度アップも必要だと考えます。

韓国のある先生は、「最近は大学の特色だけ

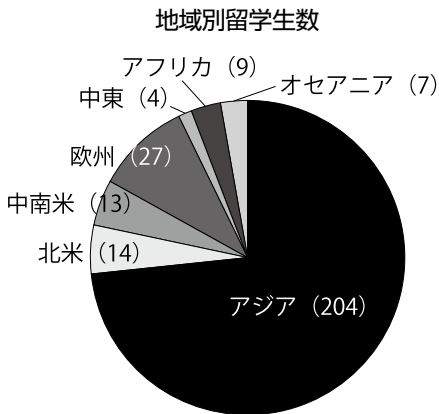
で他校と差別化するのは難しいから、沖縄の地形地理や海が素晴らしいといったインパクトのある言葉で惹きつけない限り留学生は来ませんよ」とおっしゃっていました。だからというわけではありませんが、うちのポスターなどはみんな青い海ですよ（笑）。首里城とか沖縄三線といった文化面を全面に出して、沖縄の魅力とそこにある琉球大学の魅力をアピールしています。

—— 沖縄と大学、双方の魅力の相乗効果で、多くの留学生が貴校を訪れることを期待しております。

国立大学法人 琉球大学 1950年に創設された日本最南端にある国立大学。学部は法文学部、観光産業科学部、教育学部、理学部、医学部、工学部、農学部からなり、千原と上原、両キャンパスの総面積はおおよそ126万㎡で、全国の国立大学で4番目の広さを誇る。学生総数は8331人（学部・大学院 2011年5月現在） 〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

■留学生数

合計 278 名（女 128）（2011 年 11 月現在）



国籍別ベスト10

① 中国	87 人
② 韓国	28
③ 台湾	16
④ バングラデシュ	15
⑤ インドネシア	13
⑥ アメリカ	12
⑦ タイ	10
⑧ ベトナム	10
⑨ スリランカ	7
⑩ フランス	6

留学生数学部別ベスト5（各研究科の大学院生も含む）

- ① 法文学部 92 人 ② 工学部 52 人 ③ 理学部 46 人
④ 農学部 27 人 ⑤ 観光産業学部 18 人 ⑥ 医学部 18 人

地域の魅力でアピール！ 琉球大学**琉球大学短期留学生ミニ座談会****「私たちは、だから“うちなー”にきました！」**

琉球大学の留学生センターで日本語を勉強中の6人の留学生に、なぜ沖縄を、琉球大学を選んだのか、それぞれの沖縄に対する思いを語っていただきました。



キム・ドンズさん
(韓国)



フレデリック・フィールデンさん
(イギリス)



ジョッシュ・セレンズさん
(ニュージーランド)



キム・ゼウンさん
(韓国)



高良カロリーナさん
(ブラジル)



平良・比嘉・グスタボ・平治さん
(ペルー)

——みなさんが琉球大学に来られた理由を聞かせていただけますか。

ドンス 僕は韓国の済州島の出身で、今は韓国の大学に在籍しています。琉球大学に来たのは、将来済州島で観光産業に従事したいと考えていますので、同じ南国の島の観光地として、学ぶべきところの多い沖縄で勉強したいと考え、琉球大学に来ました。来年の3月に帰国する予定ですが、帰国後は韓国の大学で4年生に戻ります。

フレデリック 私はケンブリッジ大学に在籍中ですが、昨年初めて沖縄に来て、石垣島でホームステイをしました。その時、琉球の文化と歴史に興味を持ち、沖縄に留学したいと思ったんです。そして帰国後ロンドンで文部科学省の国費外国人留学生募集に申し込み、希望通り琉球大学に来ることが出来ました。

ジョッシュ 私はニュージーランドで高校を卒業後、大学に入る前の半年間、北海道のスキー場でインストラクターのアルバイトをしたことがあるんです。それがきっかけで、日本のことが好きになり、大学入学後は日本語の勉強を始めて、また日本に行きたいと思っていました。留学先に沖縄を選んだのは、生活面、勉強面も含めて、ここならのんびり留学生活が送れるのではと思ったからです。

ゼウン 私は韓国の大学で日本語と料理の二つを専攻しているのですが、沖縄が世界的に有名な“長寿の地”だということを知り、その要因が沖縄料理にあるのではないかと考えたんです。それで沖縄に興味を持つようになり、沖縄料理がどんなものなのか、実際に見て食べてみたいと思い、琉球大学に留学してみることにしました。沖縄料理というのは沖



縄そばやゴーヤチャンプルーが有名ですが、それ以外にも200～300種類あって、応用すればもっとたくさんの料理が作れるんです。

^{たから}**高良** 私は日系3世で、ブラジルで日本語の勉強をしていたのですが、日本語をもっと自分のものにしたいと思い、県費留学生制度に応募して琉球大学に来ました。沖縄は祖父母の故郷ですが、来たのは初めてです。実際来てみると、沖縄の人は南米の人のようにフレンドリーで、人も生活も料理も、そして観光地も全てが最高です。

^{たいら}**平良** 私も県費留学生としてペルーから来ました。沖縄はうちの祖父母の生まれた島なので、以前から興味はありましたし、また、僕はペルー沖縄県人会で役員もやっていますから、もっと沖縄のことを知らないといけないという気持ちがありました。僕は両親の出稼ぎで2歳から8歳まで岐阜県に住んだことがあるのですが、8歳になってペルーに戻った時、自分のアイデンティティーはどこにあるのか、ペルーなのか日本なのか、真剣に悩んだことがありました。それが2年前に研修生として3か月間、初めて沖縄を訪れたとき、自分のルーツ、自分がうちなー（沖縄）の血を持っているということを実感して、沖縄の

ことが大好きになったんです。同時に、ペルーの良さもよくわかり、ペルーのことも本当に好きになれたんですね。以前はどちらかの文化を一つ選ばないといけないと思っていたのに、沖縄に来てみて自分のルーツを感じることで、両方の文化を自然に受け入れることができるようになったんです。

———大学で学んでいることなど、普段の留学生活について教えてください。

ドンズ 日本語を中心に、日本、沖縄の文化に関する授業を受けています。

フレデリック 日本語は講読の授業もありますし、文法の構造と言語学について学ぶ授業もあります。それ以外にも琉球の文化研究や琉球語入門といった琉球文化に特化した授業も選択できます。

ドンズ 僕は空手の授業を受けています。空手が沖縄で生まれたということで、それじゃあやってみようと思いました。

フレデリック 授業以外では、大学のスポーツ施設が自由に使えるので、プールで泳いだり、ジョギングをしたりジムでトレーニングをしたりしています。これからは沖縄の弦楽器である三線（さんしん）を学んでみたいと思っています。

ジョッシュ 授業以外のサークルなどには参加していませんが、友達と一緒によく素潜りに行って、水中銃で魚をとったりしています。沖縄の海はめっちゃすごいから、この1年間の間にできるだけ海に行こうと思っています（笑）。

ゼウン 私は日々美味しいものを探して食べ歩いています（笑）。学校では空手と三線のサークルに入っています。最近メンバーが増

えていて、留学生だけで20人くらいいるんです。

高良 私もたまに三線サークルに行ったりしています。うちなーぐち（沖縄方言）サークルにも1～2度出たのですが、最近時間がなくて全然勉強していません（笑）。あとはブラジルでエイサー（沖縄の伝統的な踊り）をやっていたので、街のサークルに参加して練習を続けています。

平良 僕の場合、日本語以外では、電気電子工学科の授業に参加しています。今僕はペルーの大学で電気工学を学んでいるのですが、日本ではどのように教えているのかということが知りたかったんです。実際参加してみて感じるのは、日本の先生は教科書にとってもよく沿って授業をするということです。ペルーの場合はいろいろな本から先生が良いところを抜粋して生徒に教えるという感じで、そこが大きく違うところです。教科書の通りだと勉強はし易いのですが、自分でそれ以外の勉強をしないと、教科書だけの知識になってしまうという心配もありますね。

———みなさんは沖縄のどんなところが好きですか？

ジョッシュ 山原（やんばる）！

高良 私も！ やっぱり北部が一番きれいですね。自然が本当に素晴らしい。

フレデリック 僕は八重山諸島です。日本最南端の島々ですが、大好きです。沖縄の中でも八重山諸島は昔沖縄本島とは関係がなかったので、文化が異なり、宗教に関わるお祭りなどは今でも独特のものです。那覇からは簡単には行けないのが残念ですが。

ゼウン とにかく海が最高です。北部の美ら

海（ちゅうらうみ）水族館に行ったり、名護にあるパイナップルパークにパイナップルを食べに行ったりもします。

ドンス 本当に素晴らしいところですが、交通が不便なのが問題ですね。特に琉球大学は不便な場所にあるので、車がないと移動がちょっと大変ですね。ですから、車の無い普通の留学生の場合、1年に1～2回しか遠出はできないと思います。日本人の学生達も地元の友達に車に乗せてもらって移動しているという感じです。

——日本人学生との交流はどうですか？

ゼウン 自分がきっかけを作って積極的に行かないと、私たちのような短期留学生の場合は難しいと思います。個人的にはけっこう交流があるんですけど。

ドンス 本当に自分次第ですね。交流パーティーなどを開くと日本人学生も来てくれますから、みんな留学生に関心はあるんだとは思います。

高良 私はその点は留学生寮ではなくて一般寮に住んで良かったと思います。私のユニットには10人住んでいて、私ともう一人のブラジル人以外は日本人ですから、キッチンを使っているときとか、自然に交流できますね。それから大学にはチューター制度があるのですが、私のチューターは積極的な人で、いろいろなところに連れて行ってもらっています。

ジョッシュ 私も来日前、日本人と同部屋になるように一般寮に住みたいとお願いして入ってもらったのですが、エアコンが無いところで暑さに耐えきれず出てしまいました（笑）。結局今は留学生同士でいることのほうが多いですね。北海道でスキー場に住んでい



た時は、逆に日本人とだけ遊んでいたのですが、こちらに来て意外だったのは、日本人の大学生と自然に付き合うのは難しいということです。みんな外国人に興味がないのか、理由はわかりませんがなかなか日本人の友達はできませんね。みんないつも部屋の中でパソコンをいじっていて、学生同士の遊びというサークルという枠の中でしかしていない感じがします。私はそういうのはあまり好きじゃないですね。

平良 最近気がついたんですが、留学生と仲良くなりやすい日本人というのは、過去に自分も外国に行った事がある人が多いんです。考え方、発想が違うというのか、そういう日本人と話していると、この人は海外に行った事があるなとか、外国人の友達がいるなあとということがわかるんですね。

ゼウン オープンマインドという感じですよ。

平良 そう。僕たちの文化も簡単に受け入れてくれる。

——偶然でもそうした日本人学生と知り会えると、大学や留学の印象はグッと良くなるんですね。これからは沖縄の素晴らしい文化をたくさん吸収してご帰国下さい。

一声かけて愛を贈ろう

高路 (Ms. Gau Lu) ～中国 (北京)

慶応義塾大学大学院 商学研究科 (修士2年)

日本かアメリカか

私は北京第二外国語大学に在学中から、将来は留学したいと考えており、卒業後1年間仕事をした後、夢を叶えて日本に留学しました。実は留学先を日本にするかアメリカにするかでずいぶん悩んだのですが、日本を選んだ理由の一つに私のGPA (成績平均値) がBだったということがあります。GPAを重視するアメリカでは、初めから上位の一流大学は諦めなければなりません。日本なら日本留学試験の成績次第で、一流大学に入れる可能性があるからです。また、大学卒業後に独学で始めた日本語でしたが、日本語能力試験1級に受かったこと、中国に近いことなど、日本を選んだ理由はほかにもいくつかあります。でも最終的に決め手になったのは今の指導教官とのやりとりでした。先生には日本に来る1年ほど前、Eメールで連絡

をとらせていただき、やり取りを始めたのですが、先生は一度も会ったことのない私に対して、とても親切に指導をしてくださいました。お陰で研究について全く無知だった自分が、中



国にいながら驚くほど進歩することができました。ですから私は先生に対して感謝の気持ちを持って日本に来たんです。

日本文化はアニメから

もともと日本に対しては、桜

や寿司といったごく一般的なイメージしか持っていなかったのですが、日本語を勉強しはじめたからは日本のアニメに興味を持ち、日本文化についてもアニメから学ぶようになりました。特に、日本と中国の男女の関係、付き合い方の違いなどが面白く、徐々に両国の文化の違いについて興味を持つようになっていきました。

例えば中国は男女が同じように働きますが、女性のほうが強い。家庭に入るとその傾向はさらに強くなり、男性は常に女性の言うことに従わないといけないという感じです。これは日本とは逆ですね。

ただし、それは中国の男性が特別優しいからというわけではありません。つまり、中国には場の“空気”や言葉の“ニュアンス”といった概念がないため、男性が女性の気持ちを察して行動するということはないんです。ですから男性に何かをしてもらいたければ、女性ははっきり言わなければ

なりません。逆に日本の場合、男性は女性が言わなくても自ら察して行動しようとします。ですから日本人女性は、言いたいことをはっきりとは言わずにいつも婉曲な言い回しをするのではないのでしょうか。

こんなに中国と近いのに、どうしてこんなに違うのか。アニメを通じて、私の日本人、日本文化に対する関心は日増しに高まっていきました。

日本へ旅立つ！

2010年8月24日、私は自分よりも大きなスーツケース二つを持ち、北京の家族、友人に別れを告げて、東京に夢を追い求めに来ました。初めて見た8月の日本は想像より美しく、空港そばに広がる稲田の海を見ながら「これからは自分の力で自分の明日を創って行こう」と胸に誓いました。

食べ物が美味しい！ 女性が綺麗！！ バスが小さい！！ リンゴが1個ずつ売っている！！！！ 野菜が高い！！！！ 水道水が飲める！！！！・・・初めての日本で生活は、全てがとても新鮮で、楽しいものでした。

ただ、少し落ち着いてみると、中国人とは違う日本人の性格に戸惑うこともありました。例えば日本人は「気にしてないよ」と言いながら、けっこう気

にしていることがありますよね。こちらが間違いを冒して謝る時はそこまで考えて対応しないといけない。一方で中国人は気になったらはっきりその場で言いますが、後に引きずるようなことはありません。日本に来たばかりの頃はそうした空気や相手の言葉のニュアンスが分からず、本当に戸惑いました。

また、大きなスーツケースを持って駅の階段を上っていても、声をかけてくれる人がいなかったり、ゼミでの勉強がうまくいかなくて泣いている人に「どうしたの？」と声をかけてあげる人がいなかったり、日本人は冷たいのかなあと思う時もありました。でも私の周りには親切的な日本人が大勢いる。そこで思ったのですが、たぶん多くの日本人は困っていそうな人を見た時、どうしたらいいのか考え過ぎてしまうのではないのでしょうか。相手は本当に助けてもらいたいのか、声をかけるのは余計なお世話なのではないかと。

もしそうだとしたら、私はこう言いたいですね。たとえ相手が本当に助けを求めているなかったとしても、まず声をかけてあげること。それだけで自分の“愛”が相手に伝わり、お互いが気持ちよくなる。そして気持ち良い社会が生まれると思い

ます。中国は、ちょっとしたことで喧嘩を始めるなど、人々との関係は見た目とても悪いのですが、困っていそうな人を見つけると、すぐにみんなが声をかけて、助けようとします。それはとても人間的で素晴らしいことではないのでしょうか。人間的すぎて喧嘩が多いのは困るのですが（笑）。

飲み会で学んだ日本社会の秩序

日本の大学で頻繁に行われる飲み会は、中国では経験のないことでした。留学してこんなにお酒を飲まないといけないなんて、留学前は想像すらできませんでした。1日勉強で疲れているのに、夜また繁華街に出掛けて、みんなでお酒を飲むという習慣は、最初は慣れなくて本当に辛いものでした。

ちなみに研究室の飲み会は大学院生だけのものと学部生を含めたものの2種類があり、二つを合わせると一月に6回ほどの飲み会があります。お金がかかるのも困りますが、それより困ったのは飲み会の中でどう振る舞えばいいのかわからないということでした。中国でお酒を飲むのは、友達や家族と一緒にというケースがほとんどで、先生やクラスメート同士で飲みに行くという機会が普通ありません。ですから、



ABKの仲間と伊豆旅行

伊豆旅行。恋人岬で



まず飲み会のような席で、先生と何を話せばいいのかわからない。最初に先生が座る場所を考えたり、良いタイミングを見つけて先生に話しかけたりと、そうした飲み会での仕来りのようなことがわからず、当初はとても気を使いました。

ちなみに先生へ話しかける順番は、博士の人が先で、次に修士2年の人、修士1年の人・・・というふうに決められていて、この順序を間違えとかなりまずい雰囲気になってしまいます。お酒も先輩に勧められたら飲まないと失礼になる。私はもともとそれほど飲めなかったのですが、お陰様で1年経った今はそこそこ飲めるようになりました(笑)。

こうした仕来りは飲み会の後も続き、例えば先生がJRで帰る場合は、みんなで最寄りのJRの駅まで見送りに行き、先生が電車に乗って帰るところまで見届けます。次に博士の人が帰る駅まで行って博士の人を見送る。その次に修士2年、

修士1年と続きます。

他の研究室の人に聞くと、そこまで厳しいところはないのでは？と言われましたが、こうした体験を通じて、私は社会に出てからの礼儀や、先輩を尊重することの大切さなどを学べたと思っています。だから今はいつ日本社会にでも怖くないと感じています。

留学生活の大切な場所

私は大学院に入学すると同時に、アジア文化会館(ABK)に入寮しましたが、この1年間、精神的、身体的に全ての日本生活を支えてくれたのがこのABKでした。大袈裟ではなく、ABKに住んでいなかったら、私の日本生活はかなり辛く厳しいものになっていたと思います。

例えば学校で、日本人との交流が順調とは言えないときもあり、どうしてうまくいかないのかと、落ち込むことも多かったのですが、寮の仲間

と話してみると、みんな同じような経験をしている。自分だけの問題ではなくて、みんなが同じ経験をして、それを乗り越えてきたんだと思うと、気持ちがすごく楽になり、勉強も就活も自信を持って続けることができました。

時にはみんなで徹夜で話し合うことも、東日本大震災の被災地である岩手にボランティアに行ったこともありました。被災地では地域や団体、国籍の枠を超え、お互いが思いやり、助け合う姿を目の当たりにし、感動を覚えました。そんな体験が出来たのはABKにいたからです。自分と同じ立場である留学生達、まるで各国の代表のような彼らと生活を共にすることが出来て、本当に良かったと感じています。

就職活動と内定

私はこの春、日本の食品会社から内定をいただきました。就職活動で重要視したことはいく



震災ボランティアで ABK および外部の留学生と



泥だし作業中！

つかありますが、まず一つ目はとにかく留学生が欲しいと考えている会社に行くことでした。企業の中には、仕事は日本語力次第というところもあります。私は自分の語学力や文化交流の経験など、留学生の価値を生かせるところで仕事したいと考えました。

二つ目は業種で、中国人にとって日本と言えばモノづくりの国、品質も保証も素晴らしいものを作る国というイメージがあるので、モノづくりをしている会社に入りたいと思いました。中でも大好きな“食”に関わる企業で働きたいと思ったんです(笑)。

3つめは自分の国と関わっている事業があるかどうかです。いつか中国に戻りたいと思った時に、現地でも仕事を続けられる可能性がある企業を探しました。

そのほかに『就職四季報』などを参考に、給与の伸びや社風についても調べました。あまり競争的な雰囲気強い

会社には行きたくありませんでしたから。

私が内定をいただいた会社は、モノづくりだけではなく、音楽やスポーツなどのイベントを開催するなど、消費者の人生、心と身体の健康に関わる事業をたくさん展開しています。それまで私は何度もその会社の製品を買って、美味しいなあと思っていたのですが、そんな美味しさが生み出せるのは、背景にそうした企業努力があつてのことだということを知り、自分も消費者から社員になって何かやりたいと思ったんです。

また、日本の就活で感心したのは、日本の企業が新卒学生を重視していて、早くから採用活動を始めることでした。中国の企業は新卒学生の採用をあまり重視していないため、大学生の就活は卒業前2か月位からです。日本の就活時期が早いことには否定的な意見も聞きますが、早くに就職が決まれば、安心して研究や卒

論に集中できるので、私には日本の就活習慣は良かったと思っています。

日本を選んで

今、将来もずっと日本で生活するのかと聞かれたら、はっきり答えることは出来ません。将来結婚して家庭を持てば、自分の仕事より夫の仕事や子供の教育のほうが重要だと思うので、それらによってどこで暮らすのかが決まるのだと思います。

でも今振り返ってみると日本に留学して本当に良かったと思っています。ここまですぐ2年弱ですが、学問も含めていろいろな経験することができました。嫌なこと、大変なこともあったのですが、日本留学でなければ自分はここまで成長することは出来なかった。これから日本社会に出て、もっともっと大きな経験を積んで、更に成長していければと思っています。



※ 各情報の詳細は主催団体ホームページ等でご確認ください。奨学金情報は、日本留学情報データベースサイト = JPSS (<http://www.jpss.jp/ja/>) にて検索が行えます。

しょうがくきんじょうほう 奨学金情報

■ (財) 東電記念科学技術研究所 奨学金給付

(対象) ①学業成績、人物ともに優秀であり、心身ともに健康で大学の推薦を受けられる者 ②募集年度内 28 歳未満であること ③日本国内の大学院博士前期課程に在学し、平成 24 年度に博士後期課程に進学を希望する者、または、博士後期課程 1 年もしくは 2 年に在学し、平成 24 年度に進級を予定している者

(採用人数) 4 名程度

(助成期間) 正規の最短修業年限 (3 年以内)

(助成額) 5 万円/月

(募集期間) 平成 24 年 4 月 2 日～平成 24 年 6 月 29 日 (必着)

(申込方法) 主催団体に直接応募 (応募用紙はホームページからダウンロード)

(主催団体) 財団法人東電記念科学技術研究所

東京都千代田区有楽町 1-7-1 有楽町電気ビル北館 12 階 電話番号: 03-3201-2659

E-mail: tmfinfo@tmf.tgn.ne.jp URL: <http://www.tgn.or.jp/tmf-zaidan>

■ 福岡アジア留学生里親奨学金

(対象) 福岡都市圏外の大学、短期大学及び国立の工業高等専門学校に在籍する私費留学生

(支給金額) 月額 2 万円 (基本) ※ 支援者の意向によります。

(支給期間) 1 年間 (基本) ※ 支援者の意向によります。

(交付人数) 36 名 (平成 23 年度) ※ 支援者の意向によります。

(申請方法) 在籍大学の留学生課、もしくは学生課を通じて申請します。

(募集期間) 5 月中旬～6 月中旬 (予定)

(事務代行) 福岡県国際交流センター (この奨学金は、福岡県で就学しているアジア地域からの留学生に、経済的支援を行うことを目的としています。この目的に賛同し、奨学金を寄付した「企業・団体・個人 (奨学金寄付者)」に代わり、事務手続きを行っています)

■ 八王子市市 外国人留学生奨学金

(対象) 八王子市内に所在する大学、短期大学、大学院及び高等専門学校（以下「大学等」という。）に在学し、かつ、市内に在住している、経済的に困っている私費留学生（在留資格「留学」）。日本政府その他の団体（当該留学生の本国政府及び本国にある団体等を除く。）から、この奨学金に相当する援助を受けていないこと。学業、人物ともに優れており、かつ、地域との交流活動に参加し、又は関心があること。

(支給金額) 月額 1 万円

(支給期間) 毎年 4 月からの 1 年間

(募集期間) 5 月中旬から 6 月初旬

(応募方法) 各大学の担当窓口を通じて

(主 催) 八王子市

じょうほう イベント情報

外国人留学生向け合同企業説明会

開催日 5月23日（水） 11：00～17：00

場 所 国際ファッションセンター KFC ビルホール（都営地下鉄大江戸線「両国駅」A1 出入口に直結）JR 中央・総武線「両国駅」東口より徒歩約 6 分

対 象 2013 年 4 月に入社可能な方（第二新卒を含む）

内 容 2013 年新卒外国人留学生を積極的に採用する日本企業 18 社が参加予定です。

参 加 主催者サイトより要予約 <https://www.jaboon.com>

主 催 JABOON（☎ 03-6821-8100 E-mail jaboon@jdv.co.jp）

第3回ラオスフェスティバル

開催日 5月26日（土）、27日（日） 両日共 10：00～19：00

場 所 代々木公園イベント会場（JR「原宿」・地下鉄千代田線「代々木公園」(C02) 下車 徒歩 3 分、小田急線「代々木八幡」下車 徒歩 6 分）

内 容 ラオス文化や社会を知るための各種展示やパフォーマンス、ラオス料理の屋台やラオス関連企業、NGO 団体によるブースが多数出展し、ラオスを知る・楽しむためのイベントです。ステージには Cells や ALUNA、ARDSANA といったラオスを代表するアーティストたちが登場し、水越けいこ等日本人アーティストたちと共演します。

主 催 ラオス人民民主共和国大使館、東京国際学園高等部、さくら国際高等学校
公式サイト <http://laos-festival.info/>

MEMBERS

〈ご入会とご寄付の報告〉

2012年2月

特別会員

(1口)

株式会社 InfoDeliver 港区

正会員

(1口)

鈴木 秀明 豊橋市

三橋 隆資 習志野市

小木曾 建 世田谷

張 延 取手市

H. DESBOIS フランス

中元 管根 西之表市

工藤 博司 酒田市

岩井 秀生 入間市

山本 仁 伊東市

愛知淑徳大学国際交流センター

愛知郡長久手町

楊 青雲 江戸川区

アジア・コミュニティ・センター21

文京区

ご寄付

田中 静子 茨木市

2012年3月

特別会員

(1口)

日本シグマックス(株) 新宿区

正会員

(2口)

澤登 千恵子 国立市

(1口)

山海 保 葛飾区

小野寺 武夫 国分寺市

渋谷 寧伸 西宮市

吉原 エツ子

中曽根 信

石川 清子

川上 剛

松崎 利夫

白石 勤

田川 明子

岩佐 佳英

坂詰 貴司

柏原 きみ

飯沼 英郎

杉本 宏樹

村田 忠禧

馬杉 栄一

横田 雅弘

細川 哲士

堤井 信力

米林 太久実

(財) 守屋留学生交流協会

始良市

中標津町

渋谷区

稲城市

小浜市

千葉市

港区

文京区

船橋市

北区

鎌倉市

杉並区

川崎市

札幌市

千代田区

八王子

横浜市

品川区

千代田区

坂東市

さいたま市

中野区

日野市

濱田 修

藪下 勝

坪井 健

漆嶋 敏治/才子

戴志堅/陳艶萍

久保 哲也

真弓 忠

駒場 一成

牧 美保子

脇 英親

東京都市大学

高 秉沢/姜英園

鈴木 智

田中 泉

田中 利恵子

関川 弘司/郁子

石井 さち子

埜村 宗郁

松原市

千葉市

横浜市

小山市

横浜市

北区

渋谷区

大田区

所沢市

文京区

横浜市

大阪市

日立市

練馬区

東村山市

千葉市

京都市

福岡市

ご寄付

山口 憲明

日野市

栗原 静子

気仙沼市

中曽根 信

中標津町

戸田 清

杉並区高

牧 美保子

所沢市

ご 寄 付

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

先般 亡夫田井重治儀 永眠の際はご多用中にもかかわらずわざわざご会葬を賜り且つご鄭重なるご厚志を賜り有難く厚くお礼申し上げます。お陰をもちまして49日の法要を滞りなく相済ませました。早速拝趨の上お礼申し上げるべきところ略儀ながら書中をもちましたお礼かたがたご挨拶申し上げます。

なお、満中陰忌明けに際し故人・遺族の遺志により財団法人アジア学生文化協会へご芳志の一部を寄贈し供養に代えさせていただきますのでご了承のほどお願い申し上げます。生前賜りましたご厚情に改めて感謝いたしますとともに、皆様の幾久しいご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

敬具

平成24年4月

田井 満里

ABK同窓生募金のご報告

謹啓 時下愈々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、2010年6月に立ち上げました「ABK同窓生募金」は、多くの方々からご協力を賜り、2012年3月末日までに約4,000万円に達しましたので、ここにご報告申し上げます。ご寄付いただきました皆様には改めて御礼申し上げます。

これにより、ABK日本語学校の学校法人申請に必要な当面の運営準備金を確保することができました。これもひとえに内外のABK関係者の皆様の熱いご支援の賜物と心から感謝申し上げる次第です。

なお、「ABK同窓生募金」は、目標額5,000万円にはいまだ至っておりませんので、その実現まで、引き続き募金を継続させていただきます。

今後は、より多くの方々へ募金に関する情報を伝え、まだご協力をいただいていない沢山の同窓生、関係者にご賛同とご支援をいただき実現してゆく所存です。よろしくお願いいたします。

なお、この度の「ABK同窓生募金」への寄付者のお名前は、金額の多寡にかかわらず新校舎に掲げる銘板に刻印し、長く保存させていただく予定です。

敬具

2012年3月末日
財団法人アジア学生文化協会
理事長 小木曾 友

ご報告

ABK同窓生募金（2012年3月31日現在）

ご協力ありがとうございました。募金のご報告は『アジアの友』並びに同窓会ホームページ
< <http://www.abk.or.jp/abkd/fund/houmei roku.html> > で随時ご報告させていただきます。

- 目標額：5,000万円
- 募金額：39,354,881円
- 寄付者数：714件

〈 〉 内は出身・在住国、地域、ABC 順。日本のみ五十音順

＜中国＞ 嚴浩、戴志堅・陳艷萍

＜日本＞ 上田菜生、大杉立、岡崎道子、小木曾大、小倉尚子、久保木裕一郎、栗原静子、香月恵美子、齋藤やす子、坂元ひろ子、澤登千恵子、代田泰彦、杉本宏樹、鈴木繁、鈴木智、田井満里、田井良知、田井亮吉、竹田肇・和子、田口久美子、外山経子、中嶋源吾、中元菅根、日本養成学会、野村美知子、橋口真人、平田熙、福本一、古川恵世、帆刈礼子、馬杉栄一、真弓 忠、山崎光郎、山野井昭雄

＜香港＞ Chan Sui Ngan

＜マレーシア＞ Ang Khoo Chye(汪坤才)、Ang Lip Chee (洪立志)、Aw Leong Gee (欧良義)、Beh Chor Kim、Boon Woo Seng (温武成)、Cha Yee Seng (謝宇誠)、Chang Chew Chin (張昭成)、Charles Chow (邹贵璋)、Chaw Kam Shiang (周錦生)、Cheong Bee Nah (鐘美娜)、Chew Ching Seng (周昌盛) /Low Kim Lee (刘金莉)、Chew Fook Keong (周福强) /Goh Ger Teng (吳月婷)、Chia Mee Hang (蔡美賢)、Chin Yok Wan(陳玉旺)、Choong Chee Yee、Chow Kwee Lin(邹貴仁)、ChuahYeonHang(蔡耀漢) / Keong Chin Huai(強青懷)、Clifford Lee (李進才)、Ee Ley Tiong (余励忠)、Foo Hee Hiang (符氣強)、Foo Keah Keat、Foo Soo Kong (符樹光)、Foo Siang Seng (符祥盛)、Gan Kok Seng (顔国成)、Goh Peng Ooi、Ham Poh Can (范宝权)、Heong See Yoon (香世运)、How Chai Nguan (侯再源)、Kenneth Wong (黃復翔)、Kevin Ng (吳錦強)、Kong Sian Shih (江幸柿)、Lee Check Poh(李志保) / 黄瑞英、Lee Chee Heong (李志雄)、Lee Kian Ling (李健霖)、Lee Liong Mui、Lee Mow Tiam (李茂添)、Lee Tee Boon (李智文)、梁永森、Leong Khee Hoo (梁其和)、Leong Thiat Eng (梁德榮)、Liaw CK (廖俊光)、Liew Teck Boon (劉德文)、Lim Bok Hek (林木火)、Lim Chin Ee、Lim Hock Lai (林福来)、Lim Chee Tian (林志田)、Lim May Yan、Lim Thian Huat (林天发)、Loke HY (陆汉字) /June Tan (陈素芯)、Loh KC (羅国俊)、Koh Hong Hwee(許鴻輝)、Low Leong Meng (羅 亮 明)、Sui Kwai Chan、Na Chin Teong、Ng Chin Keong (黃振強)、Ng Kim Chai (黄金財)、Ng Mee Wah (吳劍華)、Ngiam Tee Seng (嚴世清)、Pang Pow Kwee (方宝貴)、Phang Siew Kiong (彭修强)、Pang Yuet Hueng、Quah Saw Ting、Quah Soh Teah、Siau Fook Siong (箫福祥)、Sim Kee Hong (沈其豐)、Sim Kim Ling、Simon Liow (廖天發) /Ho CL (何俟伶)、Shia Wei Jong (余維忠)、SKK Kaken (M) Sdn Bhd、Soh Keh Woei (蘇克偉)、Soo Seck Heng (苏锡兴)、Soon Kian Seng (孫健勝)、タイ アン ティエン、Tan Boon Liang (陳文亮)、Tan Hwee Ing、Tan Keah Moh (陳佳茂)、Tan Kee Hang (陈继汉)、Tan Peck Ming (陳碧明)、Tan Wee Sheng (陈为胜)、Tang Eng Huat (陳永發)、Tang Gek Eng (陈玉英)、Tang Kok Lian (湯国亮)、Tee Choon Hong (2)、Teh Chong Yee (ティ チョン イー)、Teo Boon Lian (張文連)、Teo Kian Song、Teo Kwee Swee (张贵水)、Teoh Eng

See (張映絲)、Tey Khern (鄭勤)、Tey Kian Teong、Wong Chao Hsiung、Wong Chee Ken (黃啓耕)、Wong Chin Shiuan (黃晋軒)、Wong Choon Leng、Wong Ka Seng (王家成)、Wong Kok Hoi、Wong Tzong Chyang (黃宗強)、Yap Geng Yi (叶耿瑜)、Yap Shin Woei (葉信偉)、Yew Siew Leong (姚瑞良)、Yong Hon Wee (楊漢威)、Yong Kian Teck (楊建德)、楊青雲、楊国霖

石原政一、伊藤要、稲田幸司、大須賀稔晴、越場直樹、五条章二、河野修、小松電機産業(株)代表取締役小松昭夫、貞包物産(株)貞包茂樹、柴田保、下村安秋、田中公治、塚本秀幸、坂東慶彦、深民崇夫、藤田陽一、水田康広、森下治幸、山内一弘、山川勇人、山縣みさ、山根行弘、不明1

<シンガポール> Tan Choon Shian、Wong Meng Quang

<台湾> 林丕継

<タイ> Gannigar Koontanakulvong、Sucharit Koontanakulvong

以上、170件

2012年1月31日以前の寄付者(544件)

<バングラデシュ> A.K.M. Moazzem Hussain、橋本イスラム・ヌルール(在日)

<ブラジル> Alice Nakamori、フランシスコ ヒロノリ イシハラ、Hashiguchi Mariuza、Matsubayashi Marcia、ミズマ アイコ タチバナ、セキヤ タチバナ、TACHIBANA ALBERTO、Tomooka Tizuko、ヤマウチ アツシ、ヤマウチ カズコ

<カナダ> 張素華(香港)

<中国> 蔡堅平、陳洪真、Chen Xian(陳献)、戴志堅(在日)、高栄、可軍(広中軍二)、賈輔忠、賈蕙萱、金東翰、金秋、郭南燕、李春利、Li Chen Xi 李晨曦、李惠春、劉明華、劉映春、劉越(在日)、呂新一、孟令樺・計宇生(在日)、Meng Xiao Xiao、宮下偉路(趙偉路;在米)、倪玉、Ou Yang Fei 欧陽菲(在日)、朴順玉、全浩、沙蓮香、尚捷、孫前进、王巍、Wang Wen 王穩、魏慶鼎、楊一帆、張航、張新、張新旺、張勇、Zhou Xiang

<ドイツ> Heng Fu Chong(マラヤ)、

<香港> Choi Man Wa(蔡敏華)、梁志瞬、YEUNG KING HONG(楊經航)/蔡金燕(マレーシア)

<インド> AAAWI(AOTS Alumni Association of Western India)、ABK-AOTS Dosokai Chennai Center、A. P. Wagle、Abul Sharah、Ashok Saraf、雅留宮久磨(在日)/澄子(日本)、M. Ramamurthy

<イラク> Mudhafar Al. Jabiri

<インドネシア> Budhi Setiawan Kohar

<カンボジア> 忍足林基/美恵子(日本)

<日本> アジアの新しい風、新井敬二・由利、新井重光、荒川雄彦、安藤哲生、池添尚行、池田俊二、池野朋彦・晶子、池森亮介、伊佐玲子(2)、石井信彦、石川毅・優子、石原誉慎、石原廣、井出遊、伊藤郁子、伊藤源之(2)、伊藤順(3)、稲垣敏彦、犬塚雄大、井上恵子、井上駿、岩井秀明、岩尾明、

岩佐佳英、岩崎幸子、上高子、植田泰史、内山敦之、宇戸清治、畝本昌介、漆畠才子、大木直美、大久保伸枝、大澤龍、大谷里恵子、大西一郎、大村光、岡島昭治、岡崎道子、小川巖、小川輝夫、小木曾建、小木曾大、小木曾友(3)、奥山節子、奥山義夫、小田中聡樹、小野里光博、小野寺武夫、小原正敏、甲斐等、加倉井弘行、勝部純基、兼重節、兼重智雄、兼重道雄、河合秀高、川上剛、川崎依邦(OCE)、北マツ、北川泰弘、北原千絵、北山文泰(2)、久津間優子、工藤正司、工藤幹夫(4)、久保哲也、倉内憲孝、栗原静子、黒田一雄、黒羽宏、熊沢敏一、香月恵美子、小林浩、小林泰子、小宮信介、金野隆光(3)、斎藤雅史、齋藤美知子、早乙女和義・博子、酒井杏郎、榑正義・正子、酒巻彩乃、佐藤郁夫、佐藤正

2012/3/31 現在 ABK 同窓生募金国別集計

国・地域	件数	合計額	備考
日本	307	16,855,712	含、在外/同一人複数回
マレーシア	259	11,313,588	含、在外/同一人複数回/日本人
タイ	49	5,050,426	内日本人17(¥218,733)
中国	40	2,410,000	含、在外/在日他
ベトナム	6	1,413,000	含、在日
ブラジル	11	597,015	
韓国	7	420,000	含、在日他
カンボジア	1	300,000	在日
シンガポール	7	350,140	含、在日
インド	7	190,000	含、在日
香港	4	170,000	
台湾	8	145,000	含、在日
ミャンマー	1	50,000	
バングラデシ	2	40,000	含、在日
イラク	1	10,000	
インドネシア	1	10,000	
パキスタン	1	10,000	在日
ペルー	1	10,000	在日
ラオス	1	10,000	在日
合計	714	<u>39,354,881</u>	

文(2)、佐藤玲、渋谷寧伸、清水国夫、清水勇治・泰代(2)、尚美学園大学国際交流センター、白石勝己、白石勤、白鳥文子、菅原照代、杉浦貴和子、杉山兼一、鈴木八重子、鈴木順子、栖原暁、總寧寺、染谷公久、染谷誠、高木桂子、高道俊彦(2)、高野靖子、高橋喜久江、高橋作太郎(2)、高橋満、高橋雄造、高橋幸枝、高柳直正、田川明子、宅間薫(2)、田口昌子、田尻英三、竹嶋俊紀、竹田肇・和子、竹林惟允(2)、田中紳一郎、田中多美子(2)、田中千佳子、田中稔子・静子、田中雅幸、田中美智子(2)、田中利恵子、谷口哲雄、田守智恵子(2)、近山武子(2)、土屋幸子、土屋元子、鶴尾能子、寺尾方孝・三枝子、鶴田純一・由美(2)、佃吉一(2)、堤祐子(2)、寺門克郎、寺沢宏次、東京華僑総会、戸田清、外山経子(7)、富岡昭二郎、豊島由久、中曾根信(3)、中畠正喜(2)、中原和夫(2)、中野正明、中村洋一、中元菅根、西垣幸朋、西嶋勝彦、西谷隆義、西田祥子、新田宣子、西原彰一、西村清人、西本梶、忍足絵美、忍足真理、野口明美、野田(小金丸)春美、野村美知子(2)、秦幸吉、濱田洋子、林

均、樋川好美、平井まりこ、平岡明子、平峯克、深澤のぞみ、福譲二、藤原一枝、布施知子、細川哲士、穂積亮次、堀香奈美、堀幸夫、堀内智代子、榎操、牧美保子(2)、町田恵子、町田航、松井正枝、松岡弘、松崎松平(2)、松平吉世、水須善行、三溝弘悦、宮内俊治、宮野尾光正、村田忠禧、村山秀男、森尾正照、森下明子、藪下勝、山海保、山口憲明(3)、山崎光郎(2)、山下靖典、山田守一、山田裕子、山之内正彦・萩子、山本出、山本章治、山本斉、湯山佳代、依田良子、横沢喜久子、吉川英一(在中国)、吉田菜穂子、吉田裕子、吉原エツ子、六文会、Ch atty B.Q. (ワタナベ)、渡辺譲二、匿名希望(3名)、50周年委員会売上(4)

〈韓国〉崔銀珠、韓英鳩、西原景哲、Oh Bum Suk、Youn Seong Kook (尹誠國)、禹守根(在中国)
 〈マレーシア〉2011年11月12日留日学生同窓会パーティー一同、Adelyn Ngo、Amy Tan (陳春蓮)、Ang Khoon Chye (汪坤才)、Ang Gi Moh (洪以謀)、Ang Sheng Feng (洪巧芬)、Ang Wan Leng、APPLE VACATION & CONVENTIONS SDN BHD (苹果旅游有限公司; Koh Yock Heng(許育興))、Beh Teck Chuan、Chan Huan Pang (曾煥邦)、Chang Chew Chin (張昭成)(2)、Chew Chong Seng (周昌盛)、Chia Hong Hyiap (謝鴻業)、Chia Li Teck (謝礼得)、Chin Saw Kiun 陳少勤、Chiu Jin Eng 冰周人英 / 林惠冰、Chong Piang Wee (張炳輝)、Chong Teck Foh (張德福)(2) / Chow Soo Lin、Choo Yun Fah、CM Aung、Ee Ley Tiong (余勵忠)、Fong Cheong Thiam (洪昌添)、Foo Hee Hiang (符氣強)、Foo Ming Lian (符明蓮)、Foo Siang Seng (符祥盛)、Foo Soo Kong (符素光)、Gan Teck Yeow (顏得耀)(2)、Gan Seu Kian (顏綉涓)、Goh Swee See (吳瑞獅)、Ham Poh Chyan、Heong See Yong (香世運)、Jeff Tiang、Kenneth Wong (黃復翔)、Khu Hwa Leng (邱華龍)、Kong Guan Wie (江元偉)、Lai Yoon Poh (賴永保)、Lau Kok Yong (劉國榮)・Lau Weng Wah (劉潤華)、Lau Sau Hong、Lau Shiang Horng、Lee Kian Ling (李建霖)、Lee Kong/Lam Chok Yak、Lee Leong King (黎亮景)、Lee Miow Ying (李妙英)、Lee Mow Tiam (李茂添)、Lee Tee Boon、Lee Tiam Hing (李天興)、Lee Yuet Keong (呂月強) / Kek Sai Fong (郭思坊)、Leong Kee Huo (梁其和)、Leong Thiat Eng (梁德榮)、Lew Kim Song (劉金雄)、Liew Teck Boon (劉德文)、Lim Chong Chan (林忠贊)、Lim Hock Lai、Lim Liong Chu (林良住)、Lim Peng Jin (Scientex Incorporated Bhd)、Lim Sin Yean (林欣燕)、Lim Yok Chai (林意財)、Loke Hon Yee (陸漢宇)、Low Cho Kee (劉助基)、Low Han Peng (劉漢平)、Low Kim Lee(劉金莉)、Ng Chin Keong (黃振強)、Ng Chuan Aik (Tony Cang)、Ng Eng Hooi (黃永輝) Ng Kim Chai (黃金財)、Ng Kim Chai (黃金財)、Ng Teong Guan (黃忠元)、Ng Tian Eng (黃殿英)、Ng Tian Eng(黃殿英)、Ngiam Tee Seng(嚴世清)、Ngwan Boon Ming (阮文明)、Ong Cheng Chuan(王清川)、Ong Ching Long (王建龍)、Ong Chooi Lee (王翠莉)、Ong Poh Heng (王寶慶)、Ong Thye Beng (王泰明)、Ong Yee Meng (王玉明)、Pang Choon Boon (彭俊文)、Poh Siew Hui (傅秀慧)、Seah Boon Chieng、Sim Eng Kang (沈永江)、Sim Kee Hong (沈其豐)、Soh Keh Woei (蘇克偉)、Soo Seck Heng (蘇錫興)、Soon Sai Kheng、Stanley Lian Tan Boon Liang (陳文亮)、Su Kui Sheng (蘇桂昇)、Tan Chaik Kwang (陳澤光)、Tan Chee Kiong (陳志強)、Tan Chee Teong (陳治中)、Tan Cheet Yong (2)、Tan Chew Mooi (陳秋妹)、Tan Kee Hang (陳繼漢)(2)、Tan Pang Tee (陳邦智)、Tan Peck Ming (陳碧明)、Tan See Seng (陳時生)、Tan Soo Sin (陳

素芯)、Tan Wee Pin、Tan Wee Seng、Tang Eng Huat (陳永發)、Tang Kok Lian (湯国亮) (2)、Tang Miow Chin (湯妙晶)、Teng Kim Yin (鄧錦雲)、Teoh Eng Choo、Teh Chong Yee (鄭忠義)、Teo Bee Hong (張美宏)、Teo Chuan Soon (張川順)、Teo Kwee Swee (張貴水)、Teo Tiam Hwa (張添華)、Thye Meng Yu (鄭茗友)、Tiang Chuan Seong (鄭俊雄)、Toh Leong Chee、Toh Peng (杜平)、Wong Chin Shiuan (黃晋軒)、Wong Fee Ping (黃慧萍)、Wong Jiunn Shyong、Wong Kuok Hung (黃國鳳)、Wong Seng Keng (黃成耕) (2)、Wong Sheong Chin (黃錄進)、Wong Tzong Chyang (黃宗強)、ヨン チン チュウ

〈ミャンマー〉 Aung Kyaw

〈パキスタン〉 A.R.Siddiqi

〈ペルー〉 Olga Shimada Keiko

〈シンガポール〉 Foo Yong Tse、Foo Choo Wei (在日)、顔尚強、王発其

〈台湾〉 張忠信 (在日)、Chen Ai Chi (陳艾圻)、陳俊銘、林登居 (在日)、Liu Li Mei、廖婉淑、堤井信力 (在日)

〈タイ〉 浅見博子 (在タイ)、Bandihit Rojarayanont、Chamlong Srimuang、Chanintorn Mekaratana、Chovet Yimsirikul、Ditdi Chatputtongul、Gannigar Koontanakulvong、ガンポー・パットラウト (在日)、神崎ソラダ (在日)、Kornkeo Praisontarangkul、Krisada Visavateeranon、Meena Thamchaipenet、Mongkol Pianapitham、Navarat Srisuponvanit、Niramai Thanatavee、小野崎忠士 (在タイ)、Patamavadee (Bongsayan) Narushiso、Phiphat Chaichanavichakij、Pholchai Limviphuvadh、Pilaipan Mekaratana (2)、Pisan Thanatavee、Pornanong Niyomka H.、Prayad Kongkasawad、Prayoon Shiowatana、Saowanee Patrakarn、Sathida Mekaratana、新宅光 (在タイ)、Sivaporn Sirilatthayakorn、Sucharit Koontanakulvong、Suchittra Hunbuncharkit (2)、Supong Chayutsahakij、Suthee Chutchaiwett、Suwit Vibulsresth、Tana Tangtrongsakdi、泰日経済技術振興協会、泰日工業大学 (THAI-NICHI INSTITUTE OF TECHNOLOGY)、Vachiranee Limviphuvadh、Vachiraporn Limviphuvadh、Virat Thiravathanavong、Wannadee O'sorup、Wiwut Tanthapanichakoon、柳瀬修三 (在タイ)、Yoshiko Limviphuvadh
〈ベトナム〉 Dao Thi Minh、ドンズー日本語学校、Le Quynh Chi、To Buu Luong、Nguyen An Trung、Tran Thanh Viet

ABK 同窓生募金に関するメール

Dr.Beh Chor Khim よりマレーシアの ABK 同窓生募金促進のために特別寄付者（10 万円以上）に対し、下記心臓スキャンサービス提供の申し出がありました。（2012 年 1 月）

Free Heart Scan Service Offer from
Mahameru International Medical Center
Dr. Beh Chor Khim
Offered
Free Heart Scan Service
For
ABK Alumni Fund Donor
Who donated 100,000Yen or Ringgit
Malaysia 4,200.00
At
Mahameru International Medical Center
107 & 109, Jalan Maarof, Bangsar 59600
Kuala Lumpur, Malaysia
Tel : +603-22870998
Fax : +603-22870968



マレーシアの ABK 同窓生募金促進のため Mr. Gary Tang よりゴルフのオファー ^^
My golf offer still valid: 1mil yen- 1flight free
200kyen- free golf n lesson
No guarantee of golf improvement!!

<マレーシア同窓生の募金関連呼びかけなど>

< Mr.Ang KC >

亚洲学生文化协会（简称 ABK）是 1957 年由穗積五一先生（HOZUMI）所创立的民间非盈利团体。穗積先生提倡日本和亚洲诸国和平相处，互助互惠，通过和留学生共同生活，加强彼此间的学术、技术及经济交流。创立至今，几近一甲子的 ABK 走过了风风雨雨，始终不改其民间非盈利团体的本质，一些资深的职员，奉献了自己的一生，如今依然为 ABK 的事业而奋斗，他们的坚持，让我们看到及感到 ABK 的真与诚。1981 年穗积先生去世，隔年做为主要经济来源的姐妹团体“海外技术者研修协会”（AOTS）脱离 ABK，ABK 顿时陷入财务危机。ABK 同仁本可选择在那个时后结束 ABK 的服务事业，寻求个人事业的发展，但是他们没有离开，坚持留下，ABK 转向教育事业发展，1983 年设立日语课程班。ABK 日语课程班办学过程，诚如黄金财前辈的文章所述，始于 ABK 留学生相谈室负责人荻田女士（OGITA SEIKIKO）之手：1981 年，ABK 提供场所，一些 ABK 的职员，新星学寮的日本人大学生自愿成为老师，免费为大马的学生补习加强应考“留学生统一试验”。尔后，马来西亚的先辈如黄财，TEE CH 及 PUAH LK 也加入了补习老师的阵容。可以说大马学生的补习班就是日后 ABK 日语课程班的 Prototype。1983 年 ABK 日语班正式开课，踏出了第一步，但是第二步往何处，能否成功，没人知晓。就在不知第二步是怎样的情况下，我们没等待和观望，毅然推荐了 23 名后辈给 ABK，那年 ABK 共招收 49 名亚洲各国学生，大马学生几近佔半数；84 年和 85 年也不遑多让，分别有 27 名及 23 名。ABK 日语课程班的第二步就是由前面几届学生踏出来的，是他们建立了 ABK 的口碑。如果是要等到知道第二步后才付诸第一步的行动，也

许 ABK 日语班课程早就胎死腹中。同理,ABK 倡议筹募 5 千万圆营运基金,在未能知悉第二步的详情下,我们毅然投入其中,那是因为我们感到 ABK 的真与诚,我们了解此次募金的必要性和时间的紧迫性。由于坚持走非盈利公益路线,ABK 长期出现财政赤字,经营之苦,可想而知。据了解,ABK 计划重建部分现有的建筑物做为学校用途,并正式将日语课程班提升至日语学校。在这过程中,他们迫切需要筹募法律上规定的五千万圆营运基金。至于重建校舍基金,我们所知甚少,或许 ABK 已有良策。不做杞人,努力当下,各位 ABK 的同窗生及认同 ABK 理念的朋友们,大家站出来,一人一万日圆,共同来完成此次五千万圆募金目标!略尽棉力,我已捐献一万日圆,赤子之心,希望 ABK 的教育事业能永续经营,惠及后人。最后,谢谢 JAGONG 提供我们一个平台和大家分享一些看法,当五千万募金完成后,我们会还给 JAGONG 一个平静的天空。放心吧,不会有五亿圆的募金。(2012/3/7)

< Mr. Foo HH >

1) 日本人宛

① N さん 私が日本に留学する時の在日身元保証人、元 ABK 学生文化協会理事長田井重治先生が先日亡くなりました。私は ABK 日本語学校の卒業生ではなかったですが、ABK が身元の保証をなさって下さったお陰で日本へ留学することが出来ました。残念ながらこの募金活動は先生の前に完成させることが出来ませんでした。昨年年末に、日本留学の同期生からこの募金の話が持ち込まれてきて、どうやら募金の状況が行き詰まりになっていると言われ協力を求めてきました。留学の期間に皆の学校問題から生活まで ABK が

協力して下さいましたし、問題を起こしている後輩達も ABK が彼らを助けて下さいました。本当、今 N さんが知っている私は、ABK のお陰で出来てきたものと言ってもいいくらいです。ABK には聞くことはありませんが、私がこの募金の呼びかけ活動に参加して、募金目標が達成出来なかったら、結果はゼロと変わりませんので、N さんの力を借りてこれを実現させられればと思っています。宜しくお願いします。(2012/2/21)

② K 株式会社 K 社長殿、T 株式会社 T 社長殿

いつもお世話になっています。今日わざわざ空手で話を聞いて下さって誠に有難うございます。今日渡しました資料は読みにくいと思いますので、をメールで再送付させて頂きます。またはこのウェブサイトにて <http://www.abk.or.jp/> ご参照願います。資料に説明してあるよう、アジア学生文化協会は義務的に海外留学生の身元保証人に行っており、1983 年日本語コースの教育事業を始めました。私が日本での 5 年間の留学生生活は ABK の保証の陰で完了しました。法務上の身元保証以外に、日常生活・大学の受験等の協力及び指導を頂きました。今の私達は、皆の出来る範囲で ABK へ恩返をしたいと思ってこの募金の呼掛活動に参加しています。残念ながら、昨年に東北の津波、タイ国の洪水の影響で募金の進捗が難航しています。このゆえに、マレーシアで先輩・同輩・後輩達が集まって「ABK 同窓生募金」呼掛グループを創り、昨年の 11 月から本格的に動き出しました。残念なことで、円高でもありマレーシアの元留日学生の人数は限界があり、最終的には目標まで辿り着けませんでした。募金の名称からご理解出来ると思いますが、本当は関

マレーシアにおける ABK 同窓生募金で結集した仲間が、ABK 同窓会 facebook (by Mr. Foo Hee Hiang) を 2011/4/4 に立ち上げ、情報交換を開始しました。日々仲間の輪が広がっています。
<http://www.facebook.com/#!/groups/247397165340902/>

係者内部で調達しようとの目的で発足しました。しかし予測以上関連者全員への連絡が取れないことが募金の進捗に影響しています。この募金を関連者以外に協力を求めることは、私達がマレーシアで勝手に動き出しています。よく分かりませんが、多分日本の社会では都合の悪いことがあるかも知れません。しかし、私達はABKの精神を更に立派に続けて頂きたいと思って頑張っています。これは私が先日にT社長殿にこの募金へのご協力を依頼するきっかけでした。今日、K社長殿から、協力しようとの返事を頂き、本当に感動いたしました。本当に有難うございます。宜しくをお願いします。(2012/2/25)

③ Mさん ご返信有難うございます。またご協力頂けることで本当に有難うございます。さて、メールに送ったアジア学生文化協会は、僕が日本に留学する期間の身元保証人で、元RMのPangさん、今のThyeさんも関連する協会です。僕が在馬の日本人の方々に協力を求めた原因は、皆様もこの協会の努力による成果を味わっていると勝手に思いながら、自分がよく知っている日本人の方々にお願いしています。(2012/2/27)

④ ご寄付いただきました日本の友人の方々へ：いつもお世話になっております。先日はABK同窓生募金にご協力くださりまして有難うございました。実は、ABK関係者が3月24日にJB（ジョホールバル）を訪ね募金のお礼と説明を行なう予定になっています。また、その時、元日本留学生の同窓パーティを行ないますので、もし、お時間の都合がございましたらご出席願いたくご案内いたします。(2012/3/11)

2) ABK 宛

私は、お願いした皆さんから、一度私の願いを叶えてもらえると思っています。そのチャンスはABKが作って下さいました。Facebookに投稿してあるよう、参加した以上、ABKがターゲッ

トしたものに至らなきゃ、参加した意味がないので、この信念で動いています。先輩達並びに私達自分の意志で動いていますので、心配しなくてもいいです。(2012/2/29)

3) 同窓生宛

① 同窓生の皆様 私はFooと申します。84年度国際学友会卒で、ABKによる身元保証を受けたものです。まず、簡単に募金の状況を説明させていただきます。Ng先輩から説明があったよう、ABK日本語コースは税制上及びこれからABKの教育事業をよりよくしていくため、学校法人に切り替えなければなりません。この切替には、学校とした建物の耐震、防災設備等を増強しなければなりません。また、法規上に教育の健全性を保証するための五千万円の「運営資金」を必要となります。建設費は銀行から借入れますが、上記の運営資金は借入れものは許されないため、今回の「ABK同窓生募金」の案が協議され実施することになりました。2010年4月からこの募金を活動が行なわれてきましたが、2011年10月までに日本東北の津波、タイ国の洪水に影響され、募金は約1,600万円しか集まりませんでした。勿論上記の災害の影響もありましたが、この活動が同窓生に知られていないことも一つ大きい問題だと考えられます。幸いに、昨年の年末からNg先輩はじめ、Ang先輩達が募金発起人グループを発足し、この活動の情報を皆様に届くように努力し、このブームにより日本側の方々も一斉動き出し、この3月に3,500万円を達成出来ました。皆様をお願いしたいことは、勿論この募金活動に協力して頂くことが一つですが、まだこの情報を知らない周りの仲間を呼び掛けて頂きたいです。これから、この活動に関する、例えば寄付方法及びその他の情報を掲載しますので、宜しくご協力願います。

② 元留日学生皆様 こんにちは。KLにて二回ば

かり元留日学生の集まりを開催しましたが、今度 JB にて第三回を行ないたいと思います。集会の名称を難しくせずに、新年会でも、同窓会でも、付けませんので、「元留日学生の集り」にしたいと考えています。10 年、20 年、30 年以上も会っていない、昔の仲間はこの日に会えるかも、皆様のご参加を期待しています。会場の段取り等の手配が必要ですので、前もって出席のご連絡願いたく宜しくお願いします。日付：2012 年 3 月 24 日（土） 18：00 以後～ 場所：Mr. Lee Mow Tiam（李茂添）宅 Johor 次の発起人に 3 月 18 日までにご連絡願います。1）Ng KC 2）Ang KC 3）Lee MT 4）Kenneth W 5）Chang CC 6）Leong TE 7）Foo HH 8）Soh KW 9）The CY 10）Loke HY

各位留日校友 大家好！很多朋友从毕业离开日本后，因为工作缘故，因为居住地点的不一样，以及许许多多的缘故，和许多朋友，同学，学长，学弟妹没见过面。心里很可能有这打算，想找个时间，和朋友叙叙旧，但是，始终没有机会，没有动力将这个计划给进行！很快的，我们这批留日同学中，有很多已经儿女成群，也有的可能已经成爷爷奶奶了，头发也已白了，眼睛也都带上老花眼镜了！再不久可能就要从岗位上退下了。匆匆忙忙，人生也已经走了一大半了，想做的事，要赶快进行了！否则，年纪越大，朋友就越少了！刚毕业，或者还是在壮年的学弟们，我相信也是一样，工作的关系，时间的关系，很久没见到许多好友了吧？！希望有这么一个机会，大家聚一聚吗？去年 11 月大约四十几位校友在吉隆坡见了面，之中许多朋友都是 20 几年不见，难得一见，大家从傍晚 6 点聊到半夜 1 点还不愿散去，东南西北，大家要聊得话题太多了！由于上回许多新加坡的朋友因为临时的通知，许多朋友都无法凑出时间来聚，因此，我们决定在新山另办一次，结合新山，新加坡的朋友，再邀请吉隆坡的朋友也来参加。时间地点暂定如下：日期：2012 年 3 月 24 日（星期六）

時間：18：00 ～ 地点：李茂添宅 -TAMAN IMPAIN EMAS, JB 会費：另行通知 形式：CATERING

PS：ABK 小木曾様和布施様，时间允许的话，也会由泰国过来参加盛会。目前行程未定。发起人：黄金财，汪坤才，李茂添，符气强，梁德荣，陆汉宇，苏克伟，郑忠义，陈文亮，汤国亮，张昭成

4) 同窓生から

昨日ある後輩から電話があって、日本留学中に成績はあまりよくなかったのに、金の工面が困っていたため、ABK から奨学金を受領しました。既に今回の募金を協力してもらっていますが、日本の留学が順序に完成出来たことは ABK のお陰で、今日にある姿も ABK からの恩であったということで、昔にもらった奨学金をこれから必要とした学生達のために、ABK に恩返ししたいとの申込がありました。感動しました。

5) facebook：「ABK 同窓会」

①この FB は、主に 90 年代の同窓生のものでしたが、最初はこのプラットフォームを借りるつもりでしたが、「ABK 同窓生」の名称が取られていましたので、そのまま利用するかな～と考えています。このグループの創立者に相談してみます。ここに、皆様ももし FB 口座をお持ちの方はこの FB に参加して欲しい。これからこの FB をベースのプラットフォームにしたいと考えています。何か皆様に連絡したい場合には、この FB に掲載します。相談したいことがあるとか、元留日学生を就職に紹介したいとか、このプラットフォームを情報交換のセンターにしたらどうかと思っています。最後に、FB に載せているスライド写真及び小木曾理事長の講演のビデオは、Copy Right のため、Background Music を殺したバージョンです。オリジナルはあんな www.imtoo.com がついていません。音楽を消すために Download した Trail ソフトで

修正したため出来たものです。特別要請がある場合にはCDを用意します。李茂添さんまたは私に連絡して下さい。以上。

② Lweeさん、貴グループに入れさせて頂き有難うございます。また、勝手に【ABK 同窓生募金】の発起人グループのメンバーをAddしました。この8名のメンバーは、ABKをマレーシア留学生の身元保証人に繋いだNg先輩から、引続きこのコネクションを拡げたAng先輩、80'年代故ABK理事長田井先生による身元保証を受けた私達及びABKの一期生、二期生のメンバーです。目的はこの募金の説明、呼掛及び同窓生会員になって頂きたいことですので、将来にはこのFBから離させて頂くかも知れません。皆様が嫌になる程、ポストさせて頂きますので、宜しくお願いします。

⇒ It's our pleasure to have you and other Senpai here. Hope you all will share more history with us. Lwee Lew Chen

4月に新たに立ち上げたABK同窓会
facebook (byMr. Foo HH)
<http://www.facebook.com/groups/247397165340902>

< Mr. Foo SS >

Recently, there's a fund raising campaign among those oversea ex-Ryuugakusei in order to raise fund for a Japanese volunteer organization called Asia Bunka Kaikan (= ABK) in Japan. This volunteer organization not only involved in Japanese language education but also has been acting as Guarantor for many foreign students who wish to study in Japan. Unfortunately, this organization is not officially recognized as

a legally authorized Japanese language institute despite their many years of efforts and dedications made for the foreign students. For the purpose to achieve this qualification, ABK is currently required to rebuild its existing building and also to provide an operation fund of 50 Million Yen. To make our story short, we hereby would like to seek the possibility and assistance of Jugas/S'pore so that it may appeal to all our ex-Ryuugakusei for the donation to this volunteer organization who has been helping all the foreign students to study in Japan. Due to the constraints of time now, it's very much appreciated if you may revert to us for any further clarification etc. Warm regards, Foo Siang Seng /Jugas Life Member (2012/3/3)

< Mr.Ng Kim Chai >

ABK 同窓生の皆さんへ Ng Kim Chaiです。ABK 同窓生FBに入らせて頂き感謝します。私は1977年に私費留学生として日本に留学しました。もちろんアジア学生文化協会日本語コースが設立される前の時代です。かつて、私費留学生が日本に留学したくても身元保証人を引き受けてもらえる人がいなければ実現できないです。私自身も日本へ行く前に保証人の問題で大変苦労しました。1979年末頃、私はマレーシア留日学生(MSAJ)会福祉部の担当者として、日本に留学したいマレーシアの学生のために学生会が保証人の紹介と日本語学校の申請手続き及び日本についての面倒などの活動を試みにやり始めました。あるマレーシア学生の身元保証人を引き受けてもらうために故荻田セキ子先生(アジア学生文化協会日本語コースの創立者で創立初期の校長先生)が勤めていたABKの留学生



Ng Kim Chai さん（右から二人目）。小木曾理事長、同窓生達とジョホールバルのホテル前で

相談室へ頼みに行きました。荻田先生の働きかけで初めは ABK の職員たち、後理事長の名義で引き受けてもらえるようになりました。1981 年からは Ang 君を始め、後輩たちは又そのあとの後輩の世話し、ちょうどマレーシア政府の Look East 政策の年でもあり、ABK の保証で日本へ留学したマレーシア私費生の人数が顕著に増えました。日本政府の留学生身元保証人制度が廃止されるまで ABK は合計で約 800 人の留学生の身元保証人を引き受けていた経緯があります。上記の活動をやっていた 1980 年頃、私は荻田先生が始めた留学生補習クラスを知り、日本人学生のボランティアで佐伯さん、川上さんに加え、私も物理と数学の先生として、手伝わせてもらいました。その後、MSAJ の Foo 会長の強いサポートを得ながら、国費生の Wong 君、Tee 君と Phua 君も先生陣に加えてもらいました。そのころから、ABK とマレーシア留日学生会の関係がさらに近密になりました。多くのマレーシアの留学生は ABK を勉強と活動の場所として利用していました。ABK 補習クラスは荻田先生の手によって種まきされ、1983 年 4 月にアジア学生文化協会日本語コースの苗になり、今は生徒数は定員 400 名まで成長しています。最初の数年間はマレーシアの生徒が約半数を占めていました。これは、以上述べた経緯があったからです。しかし、

建築上の理由から学校と認められていません。税制が不利だけでなく、建物の耐震化が求められ、ABK の一部を学校用途に建替えることが課題となっています。ABK は 2013 年から学校法人“ABK 日本語学校”を設立することになります。学校設立には、校舎建設資金（約 5 億円）のほかに、教育の健全性を保証するために「運営資金」（約 5,000 万円）を所有することが必要です。同窓生募金は「運営資金」のためのものです。ABK のお陰でほとんどのマレーシア留学生は順調に大学・専門教育を受けることが出来ました。私たちは帰国後、日本の企業に限らず現地又は欧米系の企業にも就職が出来、国の発展に大いに貢献をしています。又、創業しビジネスに成功した元留学生も少なくありません。私たちはマレーシア元留学生として、ABK に援助と教育のチャンスが与えられ、その恩恵を忘れてはいけません。この場を借りて、皆さんは“飲水思源”の気持ちで ABK 同窓生募金に協力して頂けるように呼びかけをします。以上

< Mr. Lee Mow Tiam >

2012/3/24 ジョホールバルの LeeMT 宅での「元留日学生の集り」参加者へのお礼

Dear all, On behalf of ABK and Committee members I will like to thank you all of you to join 24th March 2012 (Sat) gathering dinner at JB. Hope that all of you enjoy the food and have good memory on the day. At the same time, I will making the moving video and up load to the face book (留日同学交流站) once I am ready. Thank you and Best Regards.

元日本留学生の皆様 / 幹事の皆様 / ABK 小木曾理事長殿 / ABK 布施殿 ご苦労様です 李茂添です。先週土曜日 (24th March 2012) 元日本留学生の集まり会をご出席頂く誠に有難うご

ざいました。特に日本から来て頂きました ABK 理事長小木曾殿と ABK 理事布施殿ただ今写真を整理中ですので出来次第 Face Book (留日同学交流站) に載せますので少し時間を願い致します。十数人様 (先輩、後輩) の話しによって彼らは 30 年ぶり以上、一回も会っていなかった仲間も出席来ましたので非常に感動してくれました。一>幹事様 ご苦労様でした。彼らの希望としてはこのような集まり会を 2 年一回を開催頂ければありがたいと思っておりますと依頼もありました。～検討させていただきます。再び皆様のご出席を 有難うございました！ 敬具 (2012/3/26)

< Mr. Lwee Lew Chen >

I would like to post the message from Ogiso-san. Maybe you read this from the post of Wilson Lau Kai Liang before, but I think it's worth to post again.

— 省略 —

If you are interested of supporting ABK donation campaign, please refer the below bank details. Please be informed that RM25 T/T charge incurred for each direct T/T. At the same time, ABK is required to pay 50M yen for each transaction in Japan. Thus, you are encourage to remit to our senpai's personal account. They will accumulate to send. One friendly reminder is not to forget to email to the senpai in charge after you complete your remittance. This helps them a lot for payment tracing and receipt issuance purposes. (1) 直接汇入 ABK 銀行 戸头: Bank Name: Mizuho Bank, Hongo Branch Account No.: 2789045 Account Name: Asian Students Cultural Association Association's Address: 2

- 12 - 13, Honkomagome, Bunkyo - ku, Tokyo. (2) 将捐款汇入下述发起人代表的银行 戸头: a) 马来西亚: Bank Name: MAYBANK (BANDAR SRI DAMANSARA BRANCH) Account No.: 514392504401 Account Name: ANG KHOON CHYE 请将汇款收据连同中英文名字, 电邮地址及电话传送给: i) FOO HEE HIANG< ggfoo@hotmail.com>, Tel :016 - 2136749 或 ii) ANG KHOON CHYE< angkhoonchye@gmail.com>, Tel : 012 - 2836718, Fax : 03 - 6272 - 4570 所筹获的捐款随后将会分批汇入 ABK 的银行 戸头, ABK 则会通过电邮发出收据于捐献者。b) 新加坡: Bank Name: POSBANK SINGAPORE Account No.: 093 - 52449 - 7 Account Name: WONG FOOK SHYANG 请将汇款收据连同中英文名字, 电邮地址及电话传送给: WONG FOOK SHYANG (黄復翔) <kenneth.wong@imp.sg > ,Tel:65-97378973. 黄復翔 将负责把捐款汇入 ABK 的银行 戸头, 并由 ABK 通过电邮发出收据于捐献者。

Hi folks, it's time for us to show our gratitude to ABK. Like Suat San said 恩返し. Thank you.

.....

*相変わらずお忙しい毎日かとお察しいたします。今年は殊のほか寒さが厳しい当地ですが、あと数日であの日から一年を迎えます。まだまだ先の長い復興状況ですが、皆様からのご支援は途切れずに私達の励ましになっており、感謝に堪えません。ところで本日 7 日、同窓会募金へ再度送金させて頂きました。発足以来、募金の進捗状況が気になっておりましたが、マレーシア元留学生の方々の熱い心に大いに触発され、私も些少ですが「トラの子」を拠出しました（^

ー ^)。ホンの少しでも目標額に近づいて欲しいと願っています。あの大震災でも思いましたが、最後に残るのはやっぱり人！です。魅力ある人材に育て上げる教育が総ての根幹だと痛感します。その為に使われるならお金も真価が発揮されるでしょう。是非是非、“目標達成！”を実現したいですね。栗原静子（気仙沼、2012/3/7）

* I read JUGAS's email today. Thank you for fund raising for ABK. I transferred 2000 dollars to your POSB account as my donation. I stayed in ABK dormitory from 1989 to 1992. MR. Tan Choon Shian (シンガポール、2012/3/7)

* Thank you very much for your kind information and attachment. I wish this email finds you well. My appreciation to all ABK's Management/staffs/colleagues as well as your kindness and all precious guidances & supervisions to all our asean foreign overseas students during all these years. We are glad to hear that ABK's expansion plan is a successful one and hereby wishing your association would be great contribution over Japan society and economy in many areas. Once again, thanks a lot and I wish to have a chance to visit new ABK building in near future. Kind regards, Wong Chao Hsiung (James)(マレーシア、2012/3/13)

* ABK 同窓会募金担当様 前略 ご丁寧な御礼状ありがとうございます。貴財団のおかげで、弊社も優秀な人材の確保や起業、工事などへのご協力を賜り、助かっております。わずかばかりで逆に恐縮しておりますが、今後とも、お付き合

いのほど、宜しく願い申し上げます。草々 F.M (在マレーシア、2012/3/13)

* ご無沙汰しております。わざわざご連絡有難うございました。次回日本に行くときは新しい校舎はみてみたいですね。楽しみにしております。今後とも宜しくお願い致します。サイモン (2012/3)

* 大変ご無沙汰しております。1990年4月から1991年3月までABKに在学していましたマレーシアのLEE TEE BOONと申します。先ほど久々にABKDニュースを覗いてみたら、“ABKでは新校舎建設のため、建物の一部取り壊しを計画しております”との記載がありましたが、何となく寂しく思っております。以前勉強していた校舎、同窓生と楽しく過ごしていた学生寮が懐かしく思っている今この頃です。今度日本に行く機会がありましたら、ぜひ皆さんにお伺いしたいと思います。先日小木曾校長と布施さんが3月24日にジョホールバルに来られるとの連絡を先輩から頂きました。当日の都合はまだ分かりませんが、ぜひ皆さんにお会いして、昔ABKに居た頃の懐かしい話に花を咲かせたいと思います。それでは、今後ともどうぞ宜しくお願いします。(2012/3/14)

* 小木曾先生 お元気に忙しくお過ごしのことと思います。昨日、一昨日にようせいフォーラム2012を無事に終えましたことをご報告させていただきます。すっかり遅くなってしまいましたが、その総会でささやかながら皆様の総意で10万円を「ABK日本語学校新校舎建設募金」に参加させていただくことに決定いたしました。ここにご報告させていただきます。今日中に銀行に振り込ませていただきます。どうぞよろしく願いたします。横澤喜久子 (2012/3/19)

*アジア学生文化協会 御中 謹啓 早春の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。ご連絡いただきました「正会員の年会費」および些少ではありますが、「ABK 同窓生募金への寄付」を、別途送金させていただきました。今般、「アジアの友」2-3月号」を拝見して、田井重治先生がご逝去されたことを知りました。田井先生には学生時代に、大変お世話になりました。今でも、にこやかに接して下さった優しいお姿が目に見え浮かびます。心よりご冥福をお祈りいたします。穂積五一先生の至軒寮に出入りしていた葦芽塾の西村清人先生が、私の学生時代に生活した寮（扶桑寮）の舎監でした。至軒寮や穂積五一先生のお話もずいぶんお伺いしました。昭和57年から61年の頃、タイの学生との交流に熱を上げていた私に、田井先生をご紹介くださったのがきっかけです。西村清人先生は、戦後、軽井沢中学校の教員となり、定年退職後、拓殖大学に勤務されました。70歳で大学を退職後、田井先生からの依頼で、杉並区久我山の「東京都太田記念館」の管理人を務め、その後、長野県の軽井沢へお戻りになっています。現在91歳、大変お元気でいらっしゃいます。私は、30年前に、初めて交流した、タイの学生と、今でも連絡を取り合い、また自分のできる範囲でと、25年ほど前からは、台湾、中国、韓国の留学生の身元保証人を引き受けて参りました。田井先生とのお話から、少しでも留学生の日本理解、私自身の留学生とお国の文化理解に繋がればと思ったからでもあります。ABKの趣旨、活動を思いますと、今こそ世の中に注目され、真の国際交流の拠点となるべきと心から願っております。アジア学生文化協会のますますのご発展をお祈り申し上げます。敬白 杉本宏樹（2012/3/20）

*長い旅、大変ご苦労様でした。さて、ABKの皆様が相変わらず元気で頑張っていること

に感心しております。楽しい会話やお励まし等に感謝致しております。ABKの皆様、宜しくお願い下さい。Yap Men Fat（マレーシア、2012/3/26）

*こんにちは。94年3月の卒業生マレーシア出身リン メヤン（Lim May Yan/MARCIA LUM MAYYAN）と申します。少しの気持ちですが、寄付しました。これから益々ご発展を祈ります。（2012/3/27）

* Japan Graduates Gathering at JB on 24/Mar'12. Ogiso-san was briefing us of the situation of ABK. Over 50 senpai presence. They are very supporting ABK and actively connecting with each others. HYPERLINK "http://www.facebook.com/profile.php?id=769095571" Lwee Lew Chen（マレーシア、2012/3）

*小木曾さん、ジュネーブの川上です。個人のアドレスからメールいたします。先日は電話で話すことができお元気そうな声を聞いてうれしく思いました。その後工藤さんともお話できました。話の仕方が少しゆっくりでしたが、しっかりした様子でしたので安心いたしました。本日でジュネーブへ来てちょうど1年になりました。ABK同窓会の掲示板に短い挨拶を掲載させていただきました。次に日本へ帰ったとき（おそらく7月）には、ぜひ家族でABKにご挨拶にうかがいたいと考えております。工藤さんの分までがんばらなければならないということで超ご多忙とは思いますが、決してご無理をなさらず健康第一としていただけたらと思います。（2012/3/2）

日本語コース（1984年）同窓生：故林銀好さんのお母様から寄付金

● 2012年3月8日 Kenneth Wong

Hi Karen,

Thank you for calling today.

I am regretted to hear that your sister had indeed passed away so long ago almost 25 over yrs. This was not known to me. She was my class mate, studied Japanese language in ABK, Tokyo in yr 1984. And we appreciated and were encouraged by very much despite of her long departure from this world & out of your family, good will of your mum willing to make a generous donation of value of RM 300 to ABK in conjunction of this campaign. We would convey your message to ABK staff, specially executive president Mr. Ogiso. They would definitely be glad to hear about the news from you and your family with some mixed feeling as well as me.

Once again, thank you very much for your donation on behalf your beloved sister.

Thank you very much.

Thanks and Best Regards,

カレン様

今日はお電話ありがとうございました。あなたのお姉様がずっと前、25年以上も前に亡くなられたとのこと、お悔やみ申し上げます。このことを私は知りませんでした。お姉様は1984年、東京のABKで一緒に日本語を学んだクラスメイトでした。お姉様が亡くなられて、この世から、そしてご家族から去られて、もうずいぶん長く経ったのに、このたびは、お母様からABK同窓生募金に関連してRM300（約8000円）のご寄付を下さり、本当に有難うございました。この

ことはABKの人々、特に小木曾理事長にお伝え致します。

小木曾さんたちは、あなたやあなたのご家族の消息を聞いて、きっと喜ばれるでしょう。そして同時に、私と同じように少し複雑な気持ちを味わわれることでしょう。

もう一度、あなたの愛するお姉様のために下さったご寄付に対し、篤く篤くお礼申し上げます。

● 2012年3月9日 Kenneth Wong

小木曾理事長様

いつもお世話になります。

我われの同窓生の一人で姉の代わりに突然 Karen Limさんから昨日、電話で募金を寄せていただきました。気の毒な話して、実は、姉の林銀好さんがおよそ25年前に、もうすでに亡くなっていたとのこと。大学の入学年で体の調子が悪くなり、マレーシアに帰って間もなく亡くなったそうです。（このことはABKの事務室の方々が知っていたかもしれないと言っておりました）

しがしながら、偉いことに、お母さんの方から故林銀好さんの為に、寄付金RM300を会館に差し上げたいという話で小生が涙出るぐらいのところでした。Karenさんにも、故林さんのお母さんにも大変な敬意を申し上げます。

この件は、直後に、すでにメールでマレーシア募金の幹事の皆さんにお知らせを送りました。故林銀好さんのお母さんのお名前はMadam Sui Kwai Chan（寄付金名義で）でした。

また、Karen Limさんに、本件は必ず会館の小木曾理事長さんにメールでお伝えすると話しました。彼女も遠い天国に居ながら、我われの募金活動を見守って応援してくれるでしょうね。

取り急ぎ、上記を連絡まで。（原文は日本語）

●2012年3月10日 小木曾友

Kenneth Wong 様

メール拝受しました。

この林銀好(1984年度生)さんは、私たちにとっても決して忘れることのできない人です。(先日何となく林さんのことを思い出していました)ABK日本語コースに在学中に身体の具合が悪くなり、帰国した方がいいということで帰国されたのですが、それからしばらくして亡くなったという知らせが届きました。教室で、林さんのご冥福を祈って黙祷とうをささげたことを覚えています。しばらくして、生前お世話になりました、とご両親からご寄付(確か5万円)があり、そのお金で、記念品を購入し記憶があります。(日本語コースにまだ保管されているはず。)

今度の募金運動が林さんのご家族にまで及んでいるとすると、日本語コース在学中の短い期間に、私たちが想像するよりも、ずっと深い人間関係が培われていたのだということを意味していますね。今後の日本語学校の在り方にも重要な示唆を与えてくださっていると思います。大切なことをお知らせくださり、本当にありがとうございました。

林さんのご家族にくれぐれもよろしくお伝えください。

●2012年3月11日 野村美知子

小木曾さま

ケネス・ウォンさんからのメールを転送していただきありがとうございました。

ウォンさんも林銀好さんも2期生だったと思いますが、私はその期は7月でABKの非常勤職を退職し、8月から国際交流基金からの派遣で北京へ行くことになってしまいました。ABK



4月10日、「ABK同窓生募金」のマレーシアにおける推進者の一人であるChang Chew Chin(張昭成、ABK1期生)さんの呼びかけで、在学当時の先生方との懐かしい再会を果たしました。写真右から、野村、小林、中野(旧姓)の各先生、LEE BEE KHIMさん(ABK1期生)、倉部(前職員)さん、Changさん。(黒須先生も後から駆けつけられた)

にも学生たちにも、途中で抜けてしまい、当ても今も申し訳なく思っておりますが、短期間の担当だったにもかかわらずウォンさんや林さんたちのことはよく覚えております。

1年後に帰国し、再びABKに今度は専任講師として採用していただくことになりABKに出向いたとき、林銀好さんがすでに帰国し、亡くなったということを聞き、ショックを受けました。ABKを辞めるときに、担任をしていたクラスの学生たちから寄せ書きのハンカチーフと林銀好さんから手作りの置物をプレゼントされました。それらは今も手元にありますが、寄せ書きにはやはり若死にした(インドで急死したと聞いているのですが、このことも非常にショックでした)同じクラスにいたマー・ケン・フォンさんの名前も書いてあります。いつかマレーシアに二人のお墓参りに行きたいと思いつつ情けないことにまだ実現しておりません。

林銀好さんのお母様のこのたびのご行為ご厚情にはウォンさん同様敬服するばかりです。年月がたってもご家族の方々の悲しみは深いでしょうし、日本のことはあまり思い出したくないことと思われれますのに。

ご入会とご寄付のお願い

当協会は、政府の補助金を受けていない純民間運営の公益法人です。財源に限りがあり、皆様方からお送りいただく会費、寄付金は、本協会の活動を支える貴重な財源となっています。何卒ご理解、ご協力をお願い致します。

協会のあらまし

名称：財団法人アジア学生文化協会

ASIAN STUDENTS CULTURAL ASSOCIATION
(ASCA)

所在地：東京都文京区本駒込2丁目12番地13号

代表者：理事長 小木曾 友

設立：1957年（昭和32年）9月18日
故郷横一氏創設

目的：日本とアジア諸国の青年学生が共同生活を通じて、人間的和合と学術、文化および経済の交流をはかることに
より、アジアの親善と世界の平和に貢献することを目的とする。

◆主な事業◆

- (1) 留学生宿舎の運営
- (2) 留学生日本語コースの運営（進学希望者向けの日本語を中心とする教育）
- (3) 留学生に対する情報提供支援
- (4) アジア語学セミナー
- (5) 帰国留学生のアジア文化会館同窓会、(社)日・タイ経済協力協会、ABK留学生の会との連携・協力

◆会費（年額）◆

正会員 1口 1万円

賛助会員 1口 5万円

特別会員 1口 10万円

会員には広報誌「アジアの友」が無料配布されます。また、広報誌購入だけを希望される方には、購読料年間3千円（学生2千円）でお送りしています。

本誌で広告してみませんか。

団体・企業を問わず、編集部へご相談ください。

後記

この4月から、夏休みを利用してタイ国のTNI（泰日工業大学）から41名の学生が来日、当財団日本語コースで日本語を学んでいる。工学部、情報学部、経営学部等出身学部は様々だが、TNIで1～2年、日本語を学んだ後の来日だ。この短期留学が、よい刺激となり、帰国後、各専門分野で更に励み、プラス日本語にも磨きをかけ、近い将来希望の就職につけることを願っている。(F)

2012年3月22日の晩に開催されたタイABK-AOTS同窓会主催、TPA、TNIの共催の日本文化の夕べ「アジア文化会館（ABK）の一夜」はABK新校舎のための募金パーティー。平日にもかかわらず大会場の全てのテーブルが一杯となる盛況だった。羽織とディナー付きで2,500バーブの会費を払っての参加だ。盛りだくさんの出し物の中のハイライトは、やはりABK同窓生募金の同窓会を通じての寄付者への盾の贈呈とパーティー主賓からの寄贈品のオークション。ABKから持参した丸谷焼の壺と小木曾理事長の寄贈の棟方志功の版画は、人気が高く高値がついた。様々な趣向を凝らし寄付集めにも成功したこの会も、大洪水で2度も延期になり、実現が危ぶまれたが、ピンビライ会長のもと執行部の皆様の度重なる会議を経てようやく実現した。ただただ感謝するのみ。(F)

マレーシアでは、2011年11月にABK同窓生募金発起人会を立ち上げ、募金の行き詰まり状態の突破口を開いてくれた。発起人会は、1970年後半から1980年代前半に日本に留学したジョホールバル出身の留学通じた強い絆で結ばれた先輩、後輩を中心につくられた。彼らのABK同窓生募金協力への強い思いと熱意に、マレーシア国内はもとより世界中で活躍するマレーシア元日本留学が賛同し、発起人会が掲げた「マレーシアから1千万の募金を」の目標を短期間に実現した。この度のマレーシア訪問は発起人会が企画したいくつか集会に参加し、募金のお礼と説明を行った。一方では、この募金のおかげで20年振り、30年振りに邂逅した仲間も多く、感謝さえされた。募金には要所、要所でFacebookが威力を発揮。多謝！(F)

アジアの友 2012年4・5月号

2012年4月20日発行（通刊第496号）

年間購読（送料共）3,000円（学生2,000円） 1部 500円（税込）

発行人 小木曾 友

編集 アジアの友編集部

発行所 財団法人 アジア学生文化協会

東京都文京区本駒込2-12-13 (〒113-8642)

電話番号：03-3946-4121

ファクシミリ：03-3946-7599

振替口座：00150-0-56754

E-mail: tomo@abk.or.jp

ホームページ: (<http://www.abk.or.jp/>)

published by ASIAN STUDENTS CULTURAL ASSOCIATION
(ASIA BUNKA KAIKAN)

2-12-13, Honkomagome, Bunkyo-ku, Tokyo, 113-8642, JAPAN

☎+81-3-3946-4121 ☎+81-3-3946-7599

Email: tomo@abk.or.jp

Home Page: <http://www.abk.or.jp/>

「アジアの友」の購読会員（年3,000円・学生2,000円）にご入会下さい。振替用紙又は電話等にて。

「ABK 同窓生募金」へのご協力をお願い

(財) アジア学生文化協会では、現在、下記の通り、「ABK 同窓生募金」を行っています。おかげさまで、沢山の同窓生、関係者のご協力を賜り 2012 年 3 月末までに約 4,000 万円の募金を集めることができました。目標の 5,000 万円まであと一息です。募金期間を一年延長し、今後は、より多くの方々へ募金に関する情報を伝え、まだご協力をいただいていない沢山の同窓生、関係者にご賛同とご支援をいただき実現してゆく所存です。よろしく願いいたします。なお、この度の「ABK 同窓生募金」への寄付者のお名前は、金額の多寡にかかわらず新校舎に掲げる銘板に刻印し、長く保存させていただく予定です。世界的な不況の折、真に心苦しい限りですが、何卒、ご理解とご協力をくださいますようお願い申し上げます。

財団法人アジア学生文化協会 (ASCA)
理事長 小木曾 友

募金内容

1. 名 称	同窓生募金								
2. 目標額	50,000,000 円 (伍千万円也)								
3. 寄付金額	一口 10,000 円 <一口未満でもお受けします。但し、一口未満の時は 1000 円以上でお願いします>								
4. 使 途	ABK が設立する学校法人の「運営資金」に当てる (注) (注) 学校設立には、校舎建設資金 (約 5 億円) のほかに、教育の健全性を保証するために「運営資金」 (約 5,000 万円) を所有することが必要です。募金はそのためのものとします。								
5. 募金対象	ABK と兄弟寮に居住したことのある各国 (在日を含む) 留学生・技術研修生・日本人学生の OB/OG (約 1,000 人)、ABK 日本語コースの卒業生 (約 4,000 人)、及び ASCA の日本人職員・会員等 (約 1,000 人)、並びに本募金趣旨に賛同されるすべての皆様								
6. 期 間	2010 年 4 月 1 日から 2 年間								
7. 送金方法	次の 1)、2)、3) のいずれかの方法で、ご送金下さい。 1) クレジットカード決済による送金 (下記ウェブサイトで手続きできます) 寄付のお申し込み http://www.abk.or.jp/abkd/fund/fund.html *セキュリティ上の必要から、1 回の送金は上限 300,000 円 (参拾万円也) でお願いします。 2) 銀行振込みによる送金 (下記銀行口座にお振り込み下さい) <table border="1"><tr><td>銀 行 名</td><td>みずほ銀行 本郷支店</td></tr><tr><td>口座番号</td><td>普通預金 NO.2789045</td></tr><tr><td>口座名義</td><td>財団法人 アジア学生文化協会</td></tr><tr><td>住 所</td><td>東京都文京区本駒込 2-12-13 ☎ 03-3946-4121</td></tr></table>	銀 行 名	みずほ銀行 本郷支店	口座番号	普通預金 NO.2789045	口座名義	財団法人 アジア学生文化協会	住 所	東京都文京区本駒込 2-12-13 ☎ 03-3946-4121
銀 行 名	みずほ銀行 本郷支店								
口座番号	普通預金 NO.2789045								
口座名義	財団法人 アジア学生文化協会								
住 所	東京都文京区本駒込 2-12-13 ☎ 03-3946-4121								
	3) 郵便振替による送金 <table border="1"><tr><td>郵便振替口座</td><td>00150-0-56754</td></tr><tr><td>加入者名</td><td>財団法人 アジア学生文化協会</td></tr></table>	郵便振替口座	00150-0-56754	加入者名	財団法人 アジア学生文化協会				
郵便振替口座	00150-0-56754								
加入者名	財団法人 アジア学生文化協会								

* 振替用紙は「アジアの友」に挟み込まれています

お問合せ先: (財) アジア学生文化協会 50 周年記念事業委員会事務局

〒113-8642 東京都文京区本駒込 2-12-13 アジア文化会館

Tel.+81-3-3946-4121 Fax.+81-3-3946-7566 E-mail: asca50com@abk.or.jp